

# 取扱説明書

米品質管理

データベースソフト 2 x64

RQCD100



**SATAKE**

2301\_01B

# 安全上のご注意

弊社製品をご使用の前に、この「安全上のご注意」と本内容をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
本内容には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、お買い求めいただいた製品を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

表示の意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから、正しくお使いください。



## 警告

人が死亡または重症を負うおそれがある  
内容を示しています。



## 注意

人がけがをしたり財産に損害を受けるお  
それがある内容を示しています。

## 重要なお知らせ



### 警告

- この取扱説明書を読み、理解するまでは本ソフトウェア及び機器の操作および保守・点検を行わないでください。
- この取扱説明書は本ソフトウェア及び機器の操作を行う場合に、いつでも調べられるよう大切に保管してください。
- 本ソフトウェア及び機器の操作および保守・点検を行う場合は、必ずこの取扱説明書の指示・注意に従ってください。  
もし、疑問点や不明な点がある場合には、最寄りの営業所に問合  
わせて回答を得るまで、作業を進めないでください。
- この取扱説明書に従わなかったために、あるいは誤用や無断改  
造がなされたために、怪我や損害が発生しても、株式会社サタケ  
は一切その責任を負いません。

# ご使用前に必ずお読みください

## ● 許諾事項及び禁止事項

本使用許諾契約の対象となるソフトウェア(以下、単に「本ソフトウェア」といいます)は、サタケ及び本ソフトウェアの使用許諾権者の所有物であり、著作権法によって保護されています。サタケは本ソフトウェアの所有権を引き続き保持しますが、本使用許諾契約に同意したお客様に、本ソフトウェアの一定の使用権を設定します。本使用許諾契約が許諾補遺条項によって修正される場合を除き、設定される本ソフトウェアの使用権は以下の通りです。

### 許諾事項

- (1) 本ソフトウェアのコピーを一つだけ、一台のパソコンで使用する。
- (2) 本ソフトウェアをネットワーク上で使用すること。ただし、ネットワークを介して本ソフトウェアを使用出来る全てのパソコンが、本ソフトウェアの使用を正式に許可されている場合に限りです。
- (3) サタケに対する書面による通知の後、本ソフトウェアを他人(法人を含む)に永久的に譲渡すること、ただし譲り受け人が本使用許諾契約に同意した場合に限りです。

### 禁止事項

- (1) 本ソフトウェアに附属しているマニュアルなどの文書をコピーすること。
- (2) 本ソフトウェアの一部または全部を問わず、再使用許諾、貸与、または、リースをすること。
- (3) リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、修正、翻訳、または、本ソフトウェアのソースコードを調べる行為、もしくは、本ソフトウェアから派生品を制作すること。

本ソフトウェアのバージョンアップ用の記録媒体または以前のバージョンとそっくり置き換えられる新バージョンを受け取った場合に、その後も本ソフトウェアの以前のバージョンまたはそのコピーを使用すること。ただし、以前のバージョンを何らかの慈善団体に寄付する場合で、その慈善団体が寄贈された製品の唯一のエンド・ユーザーになること、および本使用許諾契約に従うことに書面によって同意している場合は、この限りではありません。本ソフトウェアのバージョンアップの際に、以前のバージョンをこのような方法で寄贈しないかぎり、以前のバージョンの全てのコピーは破棄しなければなりません。

- (4) 本ソフトウェアに付属のプロテクトキー(USBメモリ)の警告シールを剥ぎ取ってはいけません。また警告シールを剥ぎ取り、ライトプロテクトスイッチをOFFに切り替えてはいけません。警告シールが剥がされた場合には保証を受けることが出来ません。



## ● 保証

この保証内容に違反する事態が生じた場合、お客様の唯一の救済方法として、サタケは保証期間内に返送を受けた瑕疵のある媒体の代品を提供するか、本ソフトウェアのご購入代金の払い戻しをいたします。ただし、どちらの方法を採るかはサタケが決定するものとします。サタケは本ソフトウェアがお客様の要望にかなうものであること、本ソフトウェアの操作に障害が発生しないこと、及び、本ソフトウェアの内容に誤りがないことを保証するものでもありません。

上記の保証がサタケの行う保証の全てであり、商品価値を有すること、お客様の特定の目的にかなうこと、および、法律違反・権利侵害が存在しないことを含む明示的、黙示的な一切の保証に代わるものです。上記の保証は、お客様に特定の法的権利を付与しますが、国によっては、法律でお客様にその他の権利が与えられることがあります。

## ● 損害賠償の免責

本書記載の救済方法によりその目的が達成できるかどうかにかかわらず、サタケは、特別損害、偶発的損害、間接損害、または、これに類似する損害に対する一切の責任を負いません。そのような損害には、本ソフトウェアの使用またはその使用不能により生じたお客様の得べかりし利益の喪失やデータ消失も含まれます。そのような損害が生じる可能性についてサタケが以前から警告を受けていたとしても、損害に対する責任をサタケが負うことはありません。

国によっては、上記のような偶発的、間接的な損害に対する責任の限定または免除を認めていないことがあります。お客様がそのような国にお住まいの場合は、上記の責任限定・免責規定は適用されないことがあります。

いかなる場合にせよ、サタケの賠償責任が、本ソフトウェアのご購入代金を超えることはありません。上記の責任限定・免責規定は、お客様が本ソフトウェアを返品するか否かにかかわらず適用されます。

※ Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

## 目次

0) ソフトウェアの起動と画面選択 .....	- 1 -
0-1 インストール手順の確認 .....	- 2 -
0-2 米品質管理データベースソフト 2 x64 のインストール .....	- 3 -
0-3 アクセスデータベースエンジンのインストール .....	- 6 -
0-4 穀粒判別器 USB 通信ドライバー .....	- 7 -
0-5 穀粒判別器通信用 IP アドレスの設定 .....	- 11 -
0-6 USB シリアルコンバータードライバーのインストール .....	- 13 -
0-7 米品質管理データベースソフト 2 x64 のアンインストール .....	- 14 -
0-8 アクセスデータベースエンジンのアンインストール .....	- 14 -
0-9 食味計通信用 USB シリアルコンバータードライバーのアンインストール .....	- 14 -
0-10 米品質管理データベースソフト 2 x64 のバージョンアップ方法 .....	- 14 -
1) ソフトウェアの起動と画面選択 .....	- 15 -
1-1 ソフトウェアの起動 .....	- 15 -
1-1-1 ソフトウェアの起動 .....	- 15 -
1-1-2 メニュー .....	- 15 -
1-1-3 各種測定画面 .....	- 16 -
2) 運転前の設定 .....	- 17 -
2-1 穀粒判別器シリアル通信設定 .....	- 17 -
2-2 穀粒判別器本体の通信設定変更 .....	- 18 -
2-3 食味計シリアル通信設定 .....	- 19 -
2-4 食味計本体の通信設定変更 .....	- 21 -
3) 測定画面の操作 .....	- 22 -
3-1 サンプル測定の流れ .....	- 22 -
3-2 サンプル詳細欄 .....	- 26 -
3-2-1 サンプル詳細欄の表示 .....	- 26 -
3-2-2 サンプル詳細欄の設定 .....	- 26 -
3-2-3 穀粒判別器に関する測定方法の設定 .....	- 28 -
3-3 受信画像の表示 .....	- 31 -
3-3-1 受信画像の表示 .....	- 31 -
3-3-2 画像表示の機能 .....	- 31 -
3-4 印刷(単票印刷) .....	- 34 -
3-4-1 単票印刷設定の表示 .....	- 34 -
3-4-2 単票印刷の機能 .....	- 35 -
4) 一覧画面の操作 .....	- 36 -
4-1-1 一覧画面 .....	- 36 -
4-1-2 測定データの一覧表示 .....	- 37 -
4-1-3 測定データの詳細表示 .....	- 37 -
4-1-4 一覧コマンド .....	- 37 -
4-2-1 一覧の基本的な操作 .....	- 39 -
4-3-1 検索条件の入力 .....	- 41 -

4-3-2 検索条件の使用、未使用 .....	- 41 -
4-3-3 検索開始 .....	- 41 -
4-3-4 詳細な条件 .....	- 41 -
4-4-1 一覧項目の表示 .....	- 42 -
4-4-2 一覧項目表示設定の操作 .....	- 42 -
4-5-1 画像の表示 .....	- 43 -
4-6-1 印刷設定画面の表示 .....	- 43 -
4-6-2 印刷設定の機能 .....	- 44 -
4-7-1 CSV ファイル出力 .....	- 45 -
4-7-2 CSV 出力設定画面 .....	- 45 -
4-7-3 CSV 出力設定 .....	- 45 -
4-8-1 分布グラフ画面 .....	- 47 -
4-8-2 分布グラフ機能で出来ること .....	- 47 -
4-8-3 分布グラフの操作 .....	- 48 -
4-9-1 粒選シミュレータ画面 .....	- 49 -
4-9-2 粒選シミュレータ機能で出来ること .....	- 49 -
4-9-3 粒選シミュレータの操作 .....	- 50 -
4-10-1 データ削除とデータ出力 .....	- 52 -
4-10-2 データ削除 .....	- 52 -
4-10-3 データ出力 .....	- 53 -
5) 設定画面の操作 .....	- 54 -
5-1 設定画面の基本的な機能 .....	- 54 -
5-1-1 設定画面の表示 .....	- 54 -
5-1-2 設定で出来ること .....	- 54 -
5-2 表示設定 1 .....	- 55 -
5-2-1 表示設定 1 の変更 .....	- 55 -
5-3 表示設定 2 .....	- 56 -
5-3-1 表示設定 2 の変更 .....	- 56 -
5-4 印刷設定 .....	- 58 -
5-4-1 印刷設定の変更 .....	- 58 -
5-5 マスタ設定 .....	- 59 -
5-5-1 表示設定の変更 .....	- 59 -
5-6 通信設定 .....	- 62 -
5-6-1 通信設定の変更 .....	- 62 -
5-7 保存設定 .....	- 63 -
5-7-1 保存設定の変更 .....	- 63 -
6) 保守画面の操作 .....	- 64 -
6-1 保守画面の基本的な機能 .....	- 64 -
6-1-1 保守画面の表示 .....	- 64 -
6-1-2 保守で出来ること .....	- 64 -
6-2 測定データ読込み .....	- 65 -

6-2-1 測定データ読み込みの操作 .....	- 65 -
6-3 マスターデータ移動と読み込み .....	- 66 -
6-3-1 マスターデータ移動と読み込みの操作 .....	- 66 -
7) 測定分類について .....	- 67 -
7-1 穀粒判別器の測定分類 .....	- 67 -
7-1-1 うるち玄米の測定分類 .....	- 67 -
7-1-2 うるち精米の測定分類 .....	- 68 -
7-1-3 醸造用玄米の測定分類 .....	- 68 -
8) Q & A .....	- 69 -
8-1 困ったときには .....	- 69 -

## 0) インストール・アンインストール

本製品をご利用いただく上で必要となる以下のソフトウェア①～④を順にインストールします。

- ① 米品質管理データベースソフト 2
- ② アクセスデータベースエンジン
- ③ 穀粒判別器 USB ドライバー
- ④ 食味計通信用 UC232A ドライバー

### ■ 必ずご確認ください！

- ソフトウェアは必ず本書の手順に従ってインストールしてください。
- ソフトウェアをインストールする場合、管理者権限のあるユーザー (Administrators 権限) でログオンする必要があります。
- パソコンの再起動の指示が表示された場合、再起動を行ってください。
- ソフトウェアのインストールを行う場合、起動中の他のソフトウェアを終了させてください。
- セキュリティの関係でインストール出来ない場合は貴社システム部門に確認してください。

※ パソコン・OS の違いにより画面が本書と異なる場合がございますがご了承ください。

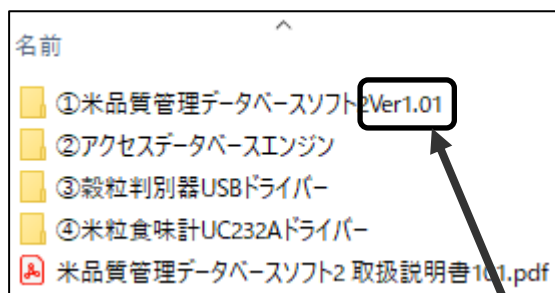
## 0-1 インストール手順の確認

① 本ソフトウェアに付属の USB メモリをパソコンに接続してください。

※ USB メモリの中にインストーラーと取扱説明書が保存されています。またソフトウェアのプロテクトキーの機能を有しています。

プロテクトキー： USB メモリがパソコンに接続されている場合に本ソフトウェアが動作します。

② USB メモリの中身をエクスプローラーで開きます。



③ 本ソフトウェアのバージョンを確認します。Ver〇.〇〇

④ USB メモリ内の『米品質管理データベースソフト 2 取扱説明書〇. pdf』の手順に従い、本ソフトウェア及びドライバーをインストールします。

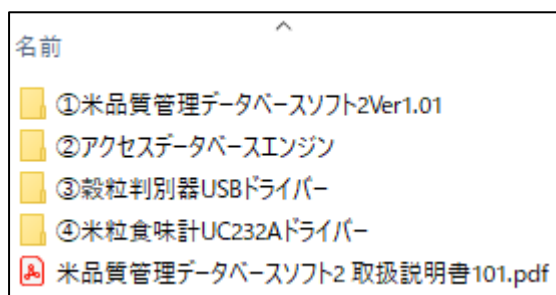
⑤ 古いバージョンのソフトウェアがインストールされている場合、P-14・『0-7 米品質管理データベースソフト 2 x64 のアンインストール』を参照して、先にアンインストールを行ってください。

## 0-2 米品質管理データベースソフト 2 x64 のインストール

- ① サタケホームページにて米品質管理データベースソフト 2 x64 の最新バージョンが公開されていないか確認します。(※ インターネット接続が必須です。)

<https://satake-japan.co.jp/support/download.html>

ホームページに公開されているバージョンの方が新しい場合はそちらをダウンロードしてください。ダウンロードした後に解凍し、フォルダの中身を開いてください。



USB メモリの中身と同じ構成になっています。

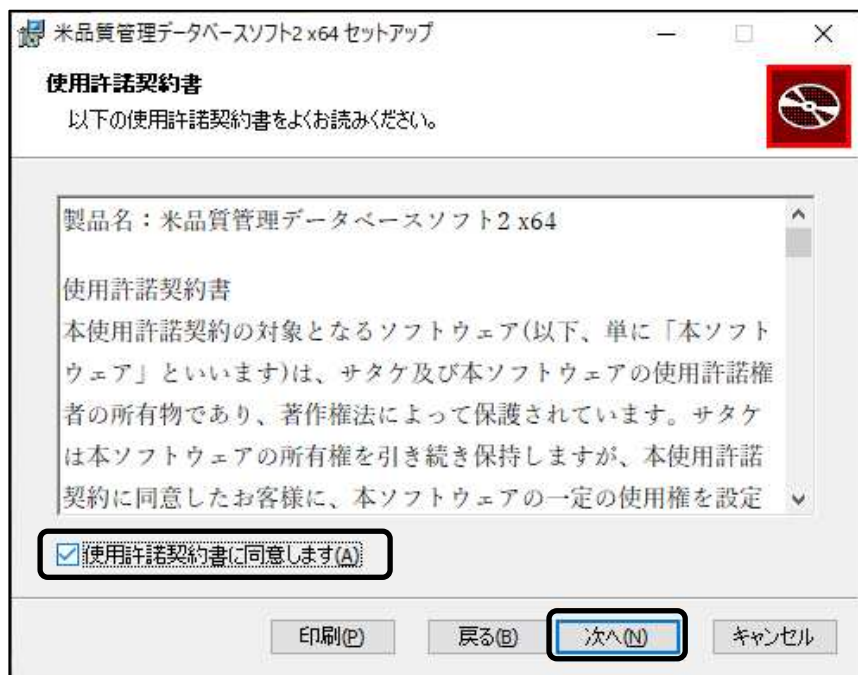
- ② 『米品質管理データベースソフト 2 x64』 ソフトウェアをインストールします。

USB メモリ内の『①米品質管理データベースソフト 2Ver〇.〇〇』 - 『setup.msi』 をダブルクリックして実行します。

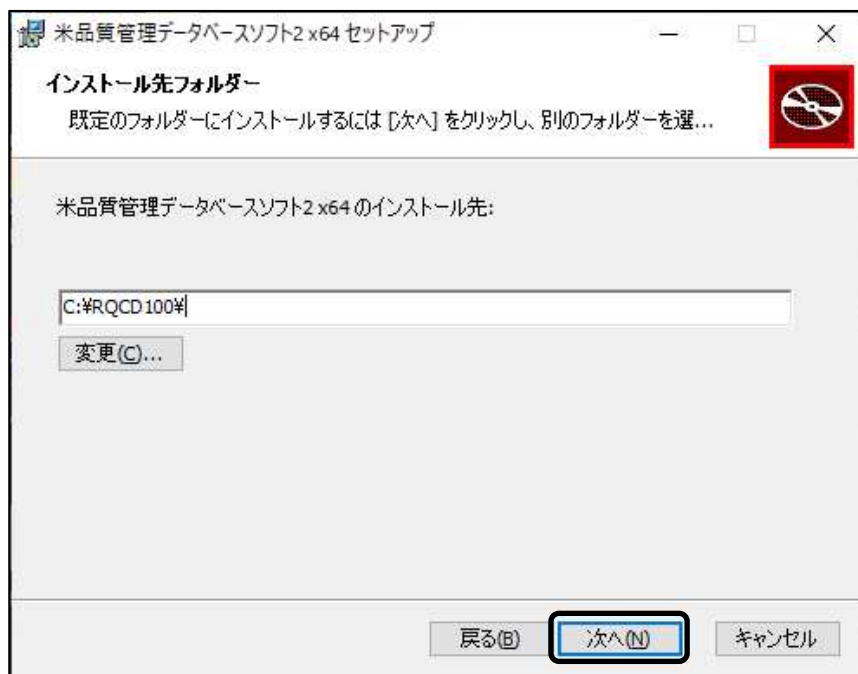
- ③ 『次へ(N)』 をクリックします。



- ④ 使用許諾契約書の確認を行い、『使用許諾契約書に同意します(A)』にチェックを入れて『次へ(N)』をクリックします。



- ⑤ 通常は C ドライブの RQCD100 フォルダにインストールするように設定されています。ドライブを確認し問題がなければ『次へ(N)』をクリックします。※インストール先は変更せずにインストールすることをお勧めします。



⑥ 『インストール(I)』 をクリックします。



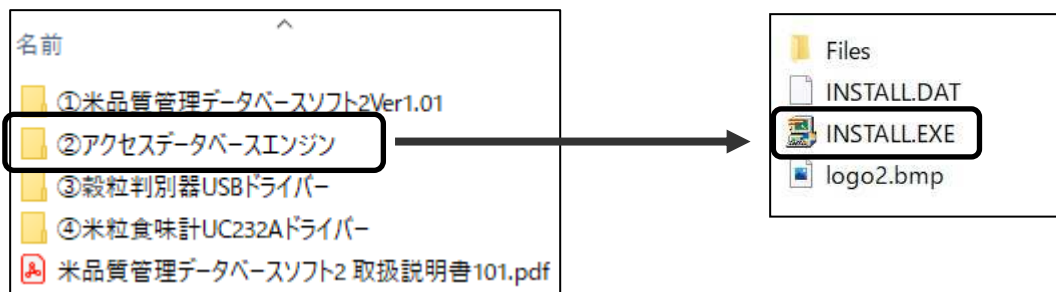
⑦ 『完了(F)』 をクリックします。本ソフトウェアのインストールは完了です。



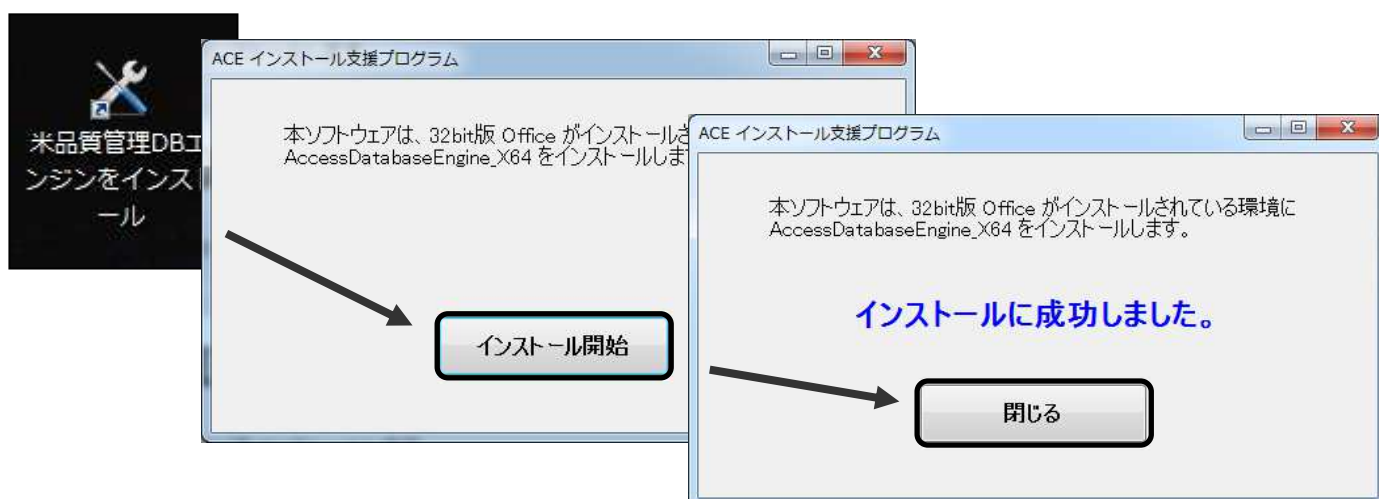
## 0-3 アクセスデータベースエンジンのインストール

Microsoft Access のデータベースを使用するのに必要なソフトウェアになります。

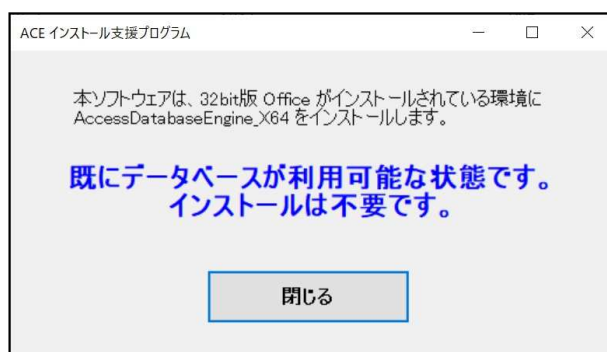
- ① USB メモリ内の②アクセスデータベースエンジン - **INSTALL.EXE** をダブルクリックします。



- ② デスクトップに出来たアイコン『米品質管理 DB エンジンインストール』をダブルクリックします。  
『インストール開始』をクリックし、インストール完了後、『閉じる』をクリックします。  
インストール完了後は『米品質管理 DB エンジンインストール』アイコンを削除しても構いません。



下記の画面が出た場合は、既にインストール済みのため次のステップに進んでください。

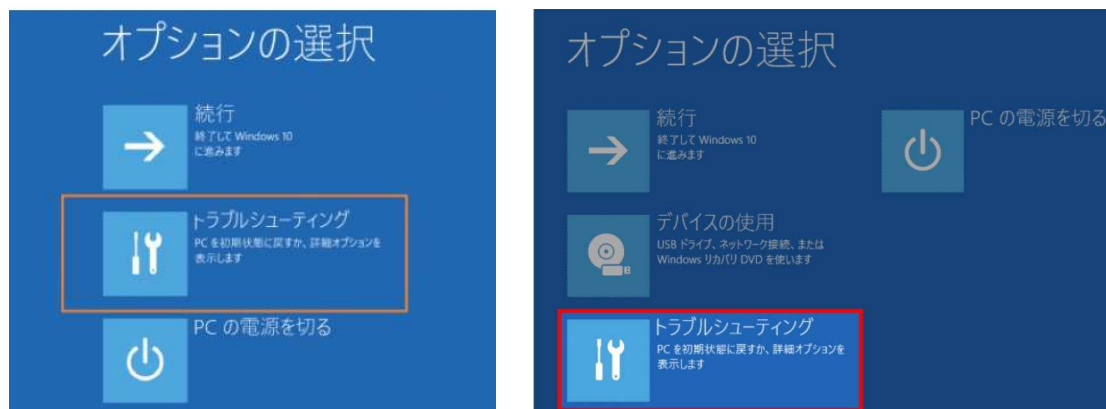


## 0-4 穀粒判別器 USB 通信ドライバー

- ① 穀粒判別器とパソコンを USB ケーブルで接続します。
- ② 『デジタル署名の無効化』を行います。※無効化を行わないとドライバーがインストール出来ません。  
下記画面と選択項目が異なり進め方がわからない場合、使用する OS 名と『デジタル署名の無効化』でインターネット検索を行ってください。OS のバージョンにより画面が異なる可能性があります。

A Shift キーを押しながら、Windows の『再起動』をクリックします。

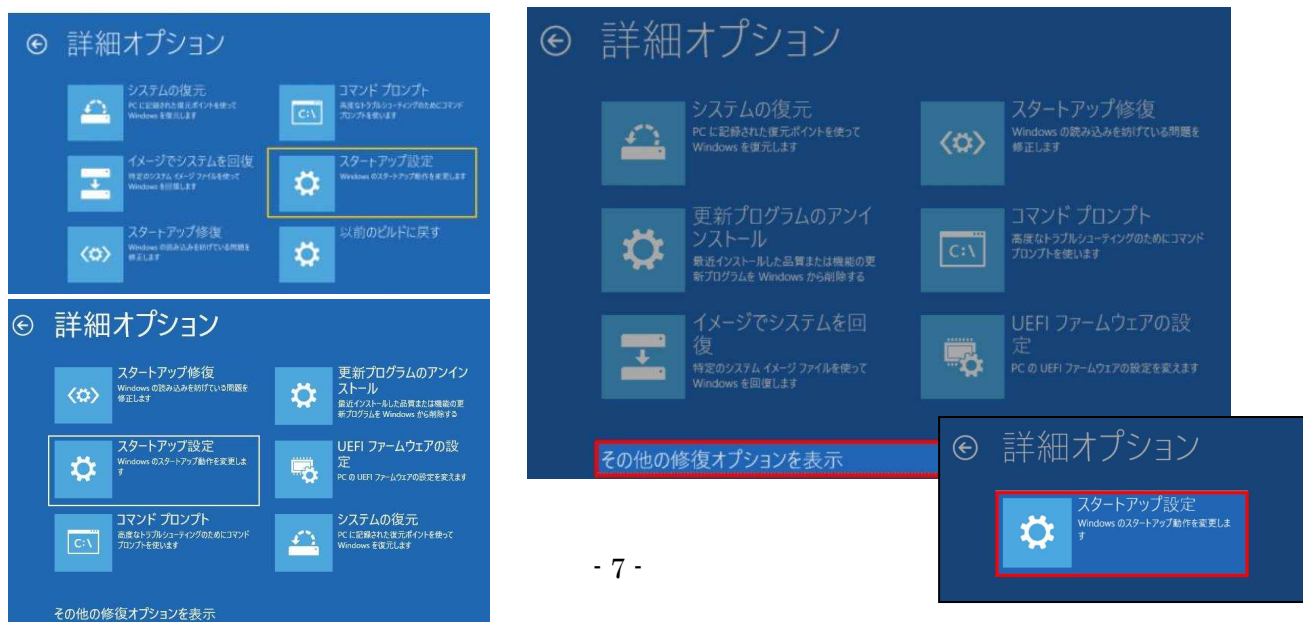
B オプションの選択画面が出るので 『トラブルシューティング』をクリックします。



C 『詳細オプション』をクリックします。



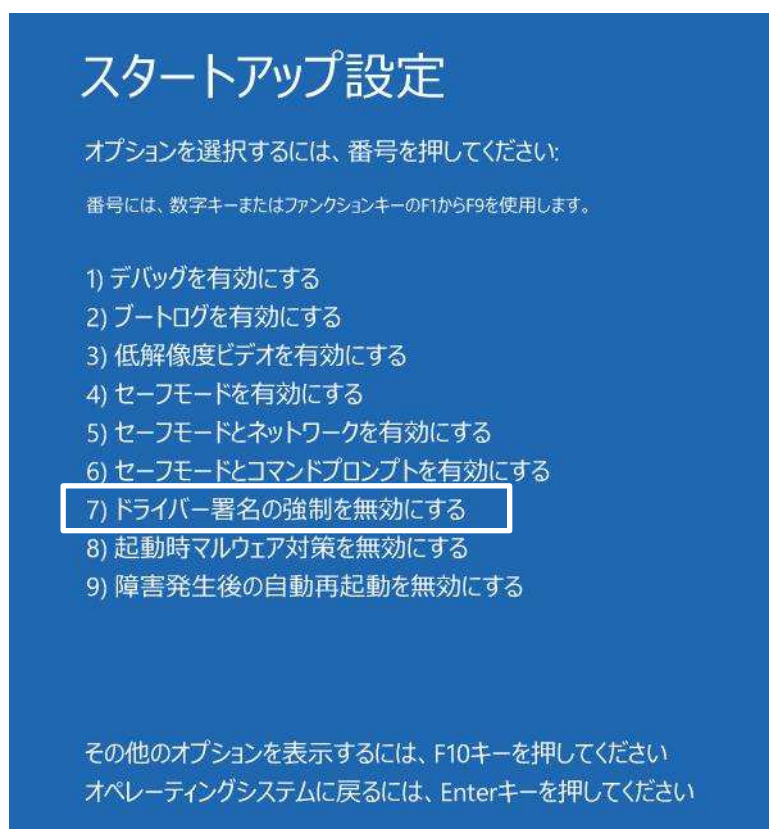
D 『スタートアップ設定』をクリックします。『スタートアップ設定』がない場合、『その他の修復オプションを表示』 - 『スタートアップ設定』をクリックします。



E 『再起動』をクリックします。



F 『7』もしくは『F7』を押します。



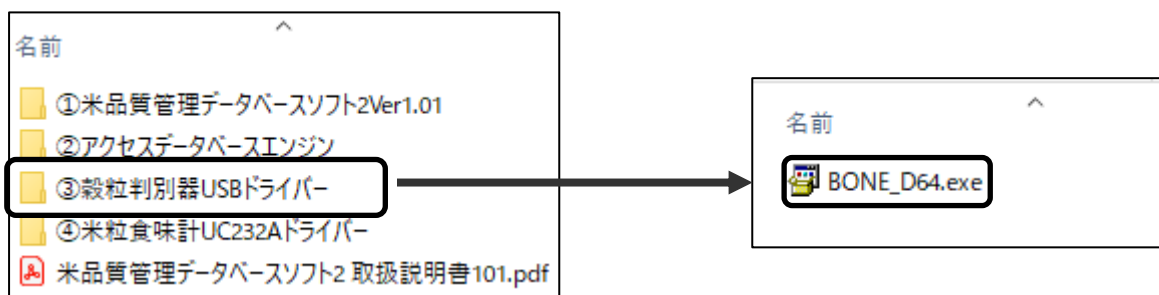
※ スタートアップ設定起動時に『BitLocker 回復キー』を要求されることがあります。



『BitLocker 回復キー』を入力してください。わからない場合は、マイクロソフトアカウントから確認するか、パソコンの管理部門に確認するようにしてください。

③ 穀粒判別器の USB 通信ドライバーをインストールします。

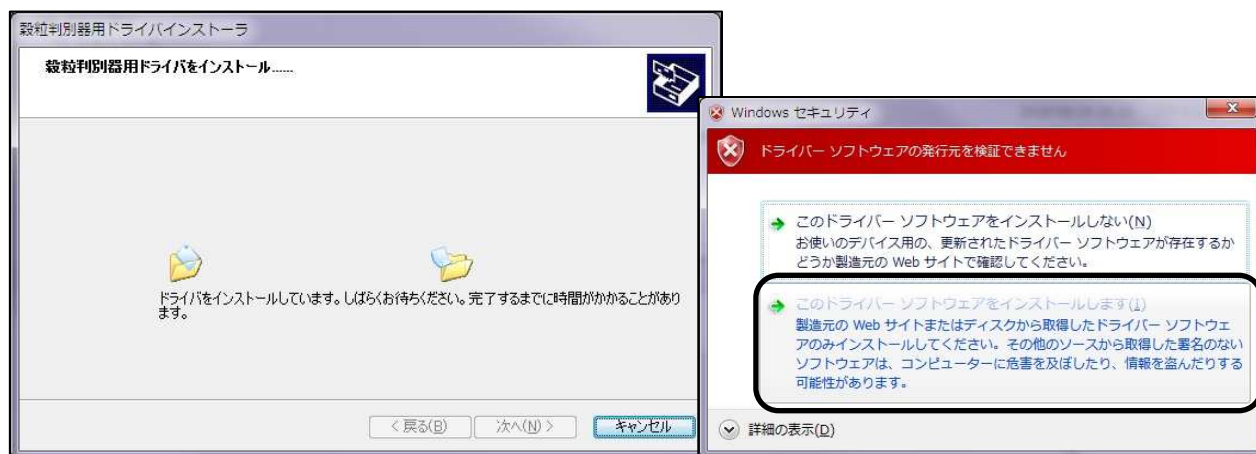
USB メモリ内の③穀粒判別器 USB ドライバー - BONE\_D64.exe をダブルクリックして実行します。



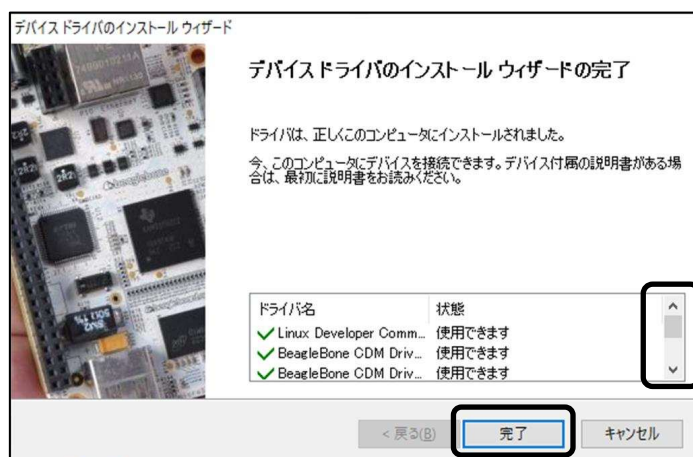
④ 『次へ(N)>』をクリックします。



- ⑤ 「ドライバーソフトウェアの発行元を検証できません」が数回出るので、  
全て『このドライバーソフトウェアをインストールします(I)』をクリックします。



- ⑥ 全ての項目の『状態』が『使用できます』になっていれば完了です。



## 0-5 穀粒判別器通信用 IP アドレスの設定

※ 穀粒判別器をパソコンと USB ケーブルで接続してから行ってください。

① 『コントロールパネル』の『ネットワークとインターネット』の『ネットワーク接続』を開きます。

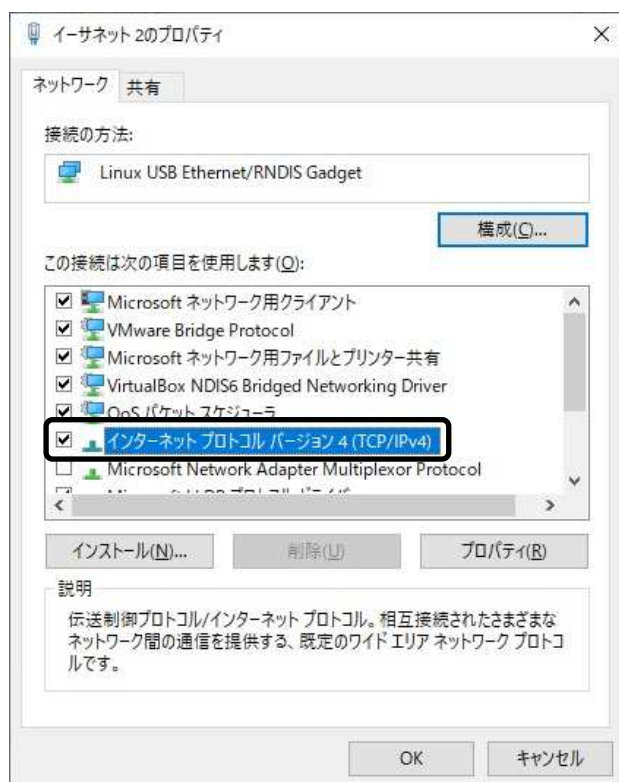


② 『Linux USB Ethernet/RNDIS Gadget』と書かれているネットワークをダブルクリックで開きます。

③ 『プロパティ』をクリックします。



- ④ 『インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)』をダブルクリックで開きます。



- ⑤ 『次の IP アドレスを使う(S)』にチェックを入れます。  
『IP アドレス』に『192.168.7.1』と入力します。  
『サブネットマスク』に『255.255.255.252』と入力します。  
『OK』をクリックで設定は完了です。

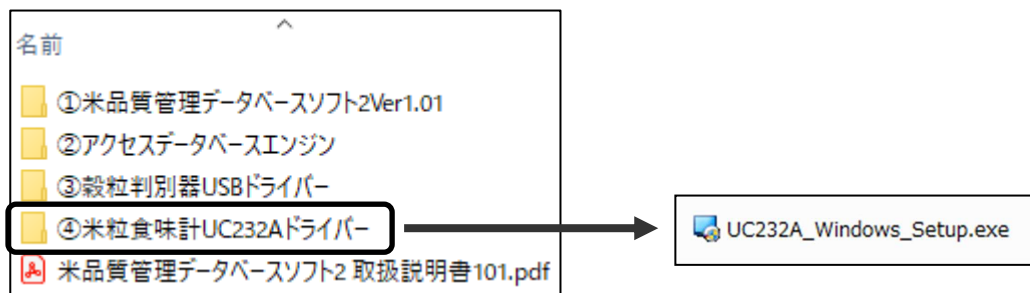


## 0 - 6 USB シリアルコンバータードライバーのインストール

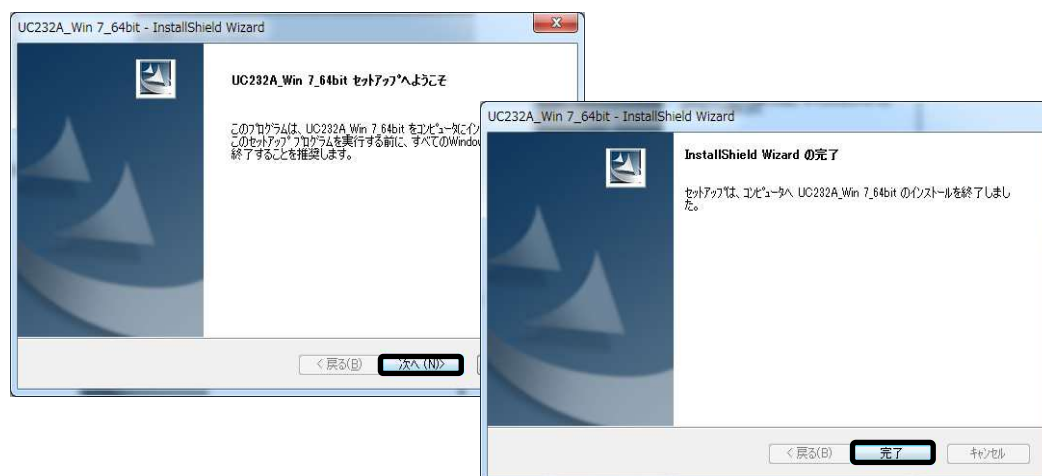
※ 米粒食味計をお使いのお客様のみ行ってください。

ATEN 社製 USB シリアルコンバーターUC-232A の型番をお使いのお客様はインストールしてください。  
ATEN 社 HP から最新版をダウンロードすることも可能です。

① USB メモリ内の④米粒食味計 UC232A ドライバー – UC232A\_Windows\_setup.exe をダブルクリックします。



② 『次へ(N)>』をクリックし、インストールが完了したら『完了』をクリックします。



## 0-7 米品質管理データベースソフト 2 x64 のアンインストール

- ① 『コントロールパネル』の『プログラムと機能』を開きます。
- ② 『米品質管理データベースソフト 2 x64』を選択して、アンインストールを行います。



## 0-8 アクセスデータベースエンジンのアンインストール

- ① 『コントロールパネル』の『プログラムと機能』を開きます。
- ② 『米品質管理データベースエンジン』を選択して、アンインストールを行います。
- ③ 『Microsoft Access database engine 2010』を選択して、アンインストールを行います。

## 0-9 食味計通信用 USB シリアルコンバータードライバーのアンインストール

- ① 『コントロールパネル』の『プログラムと機能』を開きます。
- ② 『UC232A\_Win○\_64bit』を選択してアンインストールを行います。

## 0-10 米品質管理データベースソフト 2 x64 のバージョンアップ方法

最新バージョンに更新を行いたい場合はこちらの手順で行ってください。

- ① 「0-7 米品質管理データベースソフト 2 x64 のアンインストール」を参照してアンインストールを行います。
- ② 「0-2 米品質管理データベースソフト 2 x64 のインストール」を参照してバージョンアップを行います。

※ バージョンアップ前のデータは、保存先を変更せずにインストールすれば引き継がれます。  
(データのデフォルトパス C:¥RQCD100¥Data)

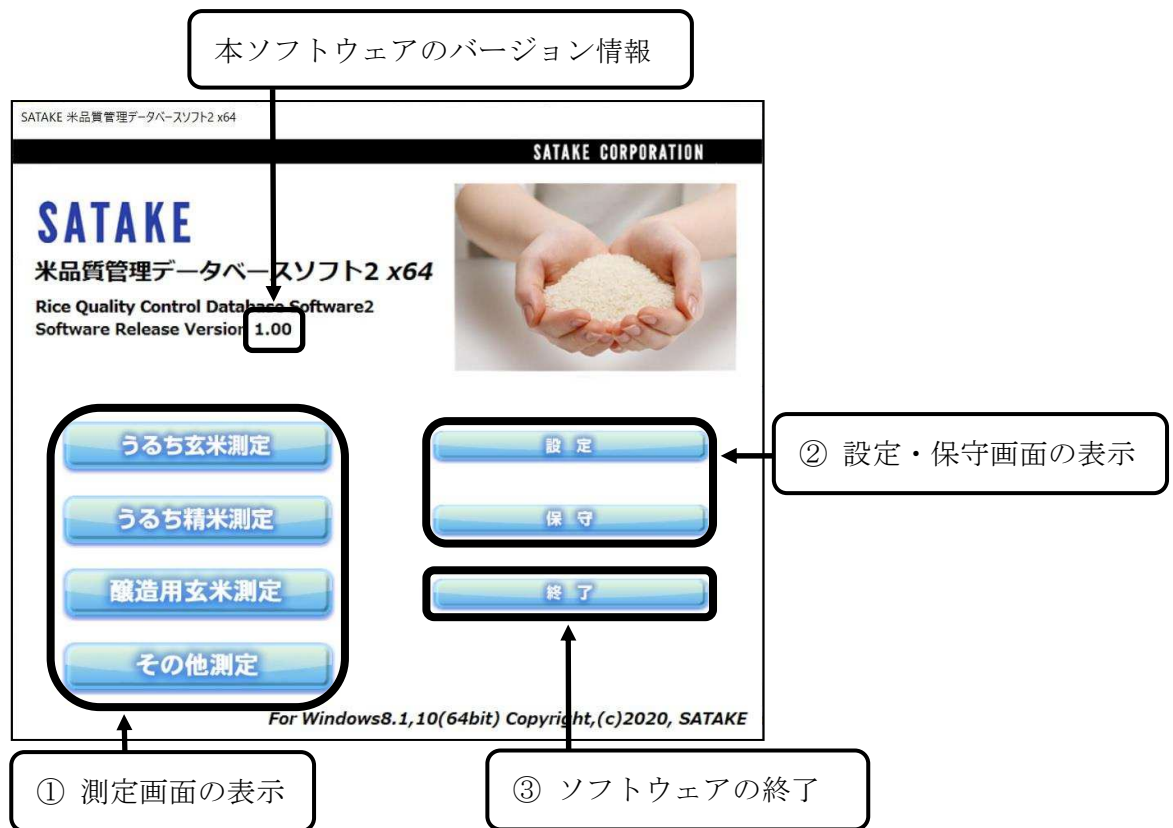
# 1) ソフトウェアの起動と画面選択

米品質管理データベースソフト 2 x64（以下「本ソフトウェア」）の起動と画面選択について説明します。  
本ソフトウェアを起動するには、付属の USBメモリ をパソコンに接続しておく必要があります。

## 1-1 ソフトウェアの起動

### 1-1-1 ソフトウェアの起動

デスクトップ上にある「サタケ米品質管理データベースソフト 2x64」ショートカットアイコンをダブルクリックするか、スタートメニュー内にある「サタケ米品質管理データベースソフト 2x64」をクリックすると本ソフトウェアが起動します。



### 1-1-2 メニュー

#### ① 測定画面の表示

「うるち玄米測定」、「うるち精米測定」、「醸造用玄米測定」、「その他測定」をクリックすると、各測定画面が表示されます。

#### ② 設定・保守画面の設定

「設定」、「保守」をクリックすると、本ソフトウェアの設定や、保守に関する画面が表示されます。

#### ③ ソフトウェアの終了

「終了」をクリックすると、本ソフトウェアを終了します。

## 1-1-3 各種測定画面

### ① うるち玄米測定

測定画面: うるち玄米測定

穀粒判別器	重量比	粒数比	粒数
整粒粒	0.0	0.0	0
着色粒	0.0	0.0	0
死米	0.0	0.0	0
胴割粒	0.0	0.0	0
砕粒	0.0	0.0	0
白未熟	0.0	0.0	0
その他	0.0	0.0	0

測定粒数: 0

食味計: 食味値 0 point, タンパク質 0.0%, 水分 0.0%, アミロース 0.0%, 脂肪酸度 0.0 mg/100g

### ② うるち精米測定

測定画面: うるち精米測定

穀粒判別器	重量比	粒数比	粒数
完全粒	0.0	0.0	0
粉状質粒	0.0	0.0	0
被害粒	0.0	0.0	0
着色粒	0.0	0.0	0
砕粒	0.0	0.0	0
異様異物	0.0	0.0	0

測定粒数: 0

食味計: 食味値 0 point, タンパク質 0.0%, 水分 0.0%, アミロース 0.0%

### ③ 醸造用玄米測定

測定画面: 醸造用玄米測定

穀粒判別器	重量比	粒数比	粒数
整粒	0.0	0.0	0
心白	0.0	0.0	0
心白半	0.0	0.0	0
胴割粒	0.0	0.0	0
その他	0.0	0.0	0

測定粒数: 0

食味計: 食味値 0 point, タンパク質 0.0%, 水分 0.0%, アミロース 0.0%, 脂肪酸度 0.0

### ④ その他測定

測定画面: その他測定

食味計: 食味値 0 point, タンパク質 0.0%, 水分 0.0%, アミロース 0.0%, 脂肪酸度 0.0

表示名称及び表示項目は設定にて変更可能です。

食味計での小麦等の測定にお使いください。

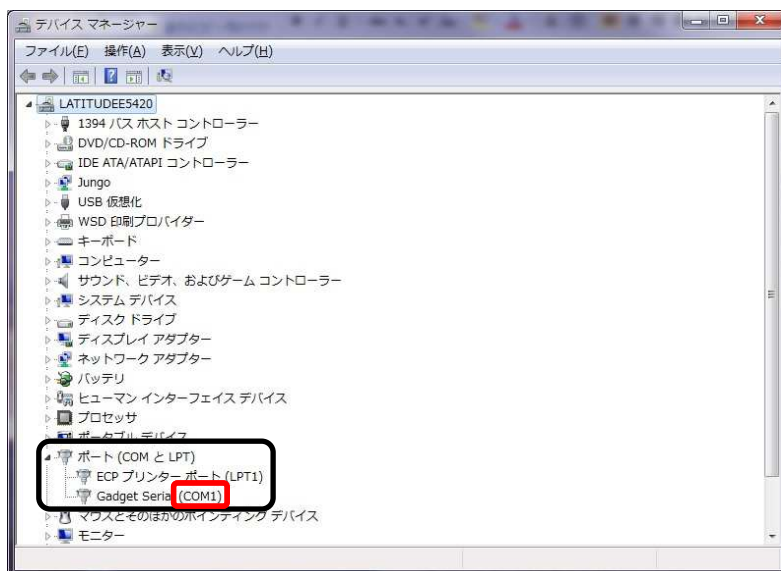
**注意）食味計が醸造用玄米に対応した場合、設定で表示に変更して使用することが可能です。**

## 2) 運転前の設定

ソフトウェアインストール後に行う穀粒判別器及び食味計の通信設定について説明します。

### 2-1 穀粒判別器シリアル通信設定

- ① 穀粒判別器とパソコンを USB ケーブルで接続します。
- ② パソコンの「コントロールパネル」の「デバイスマネージャー」を開きます。
- ③ 「ポート (COM と LPT)」の「Gadget Serial」もしくは「SATAKE USB Serial」の COM ポート番号を調べます。下記の例では COM1 となっているので 1 番となります。「Gadget Serial」もしくは「SATAKE USB Serial」が表示されない場合は 0-4 穀粒判別器 USB 通信ドライバーの手順を再度行ってください。



- ④ 本ソフトウェアを起動します。
- ⑤ 「設定」をクリックします。



⑥「通信設定」をクリックします。

⑦ 穀粒判別器との通信方法の「RS232C ポート番号 □」に先ほど調べた番号を入力して「確定」をクリックします。



## 2 - 2 穀粒判別器本体の通信設定変更

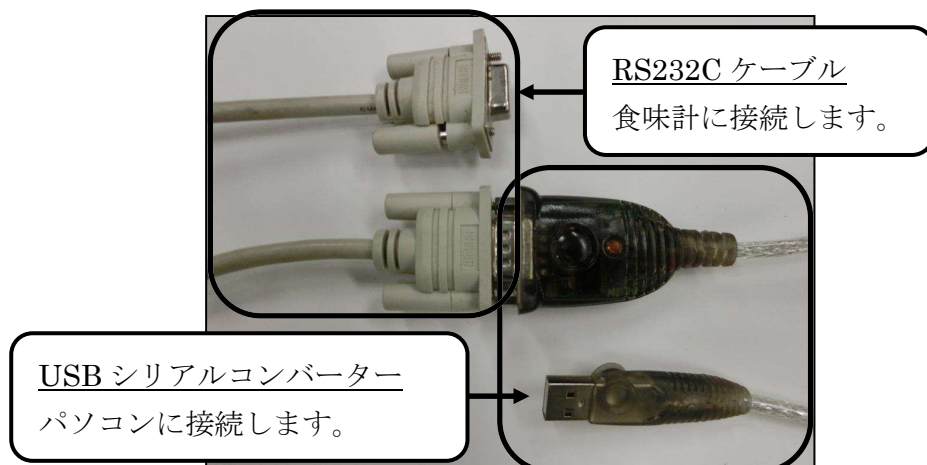
穀粒判別器本体の **メニュー** - **保守** - **シリアル通信設定** にて下記の通り設定します。



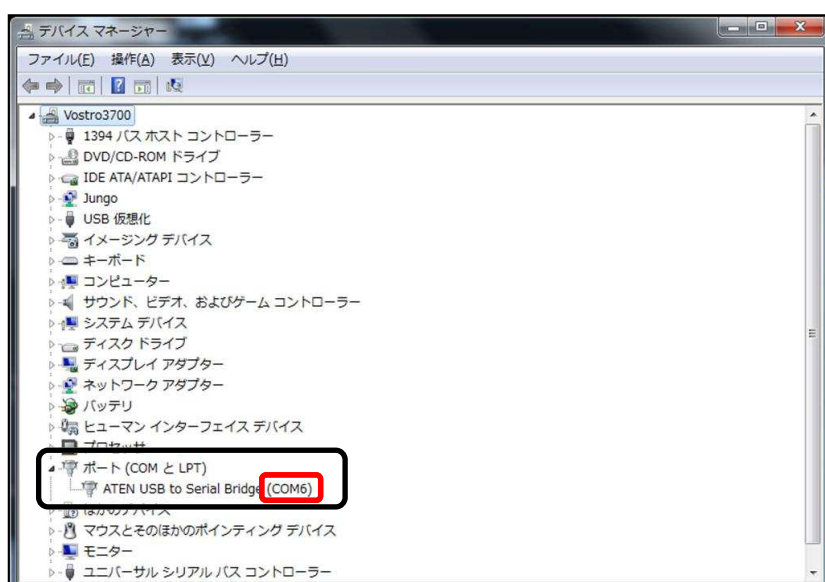
※ 通信が出来ない場合、USB ケーブルを抜いて穀粒判別器を再起動してください。

## 2-3 食味計シリアル通信設定

- ① 写真のように RS232C ケーブル(別売り)と USB シリアルコンバーター(別売り)を接続します。
- ② USB シリアルコンバーターの USB 側をパソコンに接続し、RS232C ケーブル側を食味計に接続します。



- ③ パソコンの「コントロールパネル」の「デバイスマネージャー」を開きます。
- ④ 「ポート (COM と LPT)」の COM ポート番号を調べます。  
下記の例では COM6 となっているので 6 番となります。



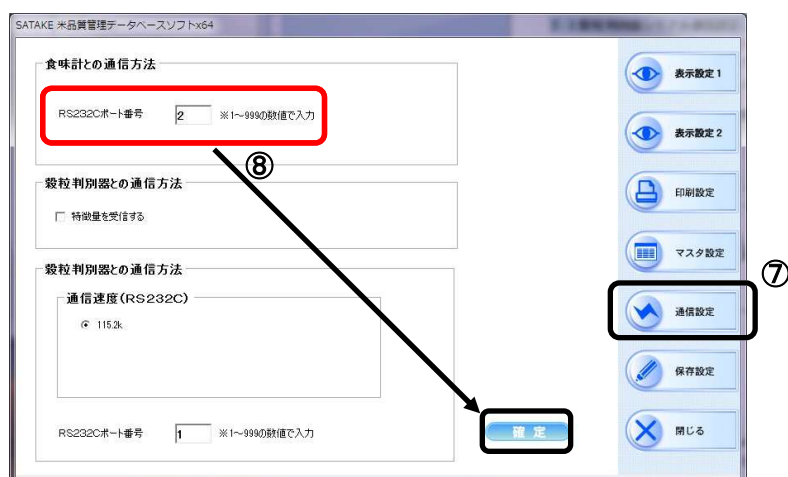
- ⑤ 本ソフトウェアを起動します。

⑥ 起動画面の「設定」をクリックし、設定画面を表示します。



⑦ 設定画面の「通信設定」をクリックします。

⑧ 食味計との通信方法の「RS232C ポート番号」に先ほど調べた番号を入力し「確定」をクリックします。



**注意）パソコン側の USB の挿し口 (ポート) を変更した場合は、COM ポートの番号が変更される可能性があります。**

## 2 - 4 食味計本体の通信設定変更

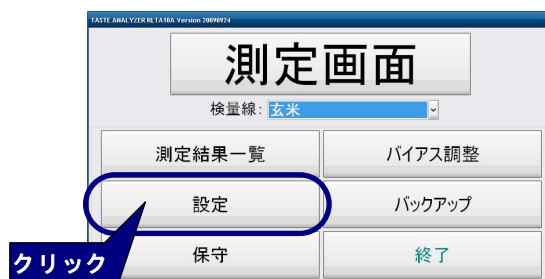
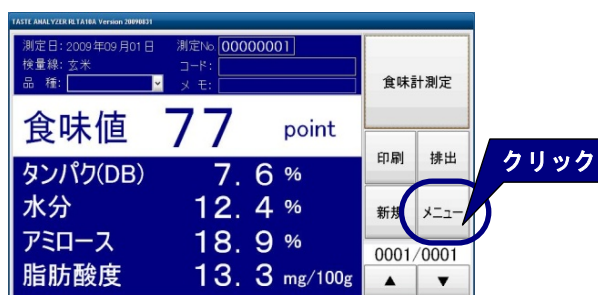
食味計の通信条件を設定します。

※ 通信条件設定が異なると、正常な通信ができません。

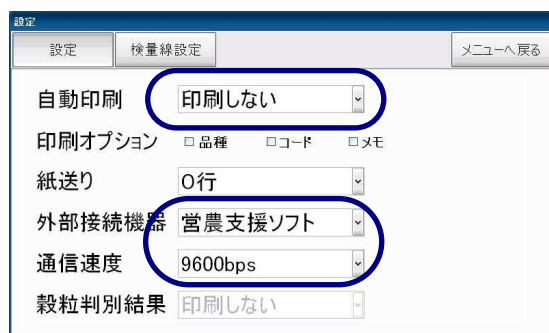
### ① RLTA10 型 - 食味計本体の設定

#### i) 設定

【メニュー】 ⇒ 【設定】を選択します。



#### ii) 通信設定



【自動印刷】 ⇒ 【印刷しない】（推奨）を選択します。

【外部接続機器】 ⇒ 【営農支援ソフト】を選択します。

【通信速度】 ⇒ 【9600bps】を選択します。

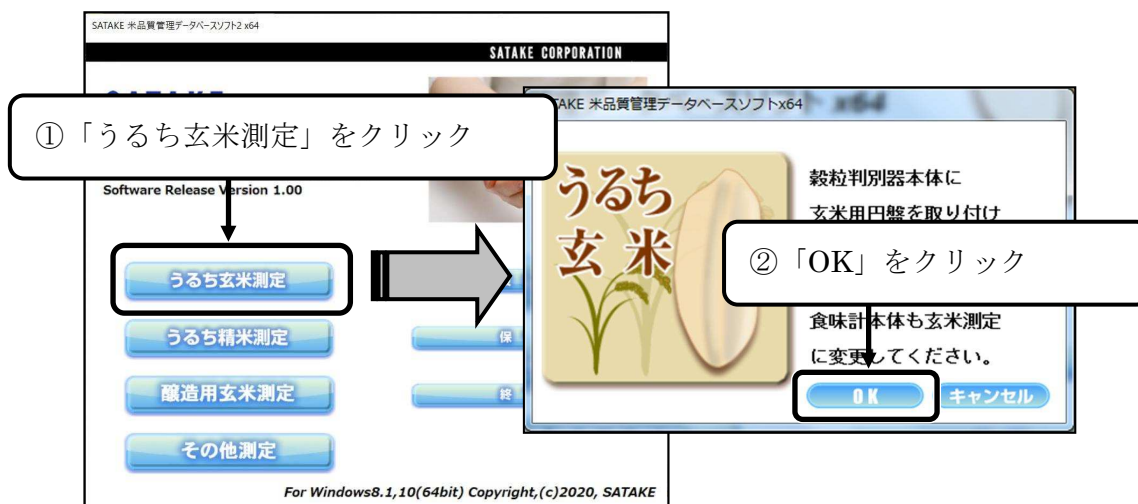
### 3) 測定画面の操作

うるち玄米、うるち精米、醸造用玄米、その他測定共に基本的な操作は同じです。  
以後の基本的な説明は「うるち玄米測定」にて行います。

#### 3-1 サンプル測定の流れ

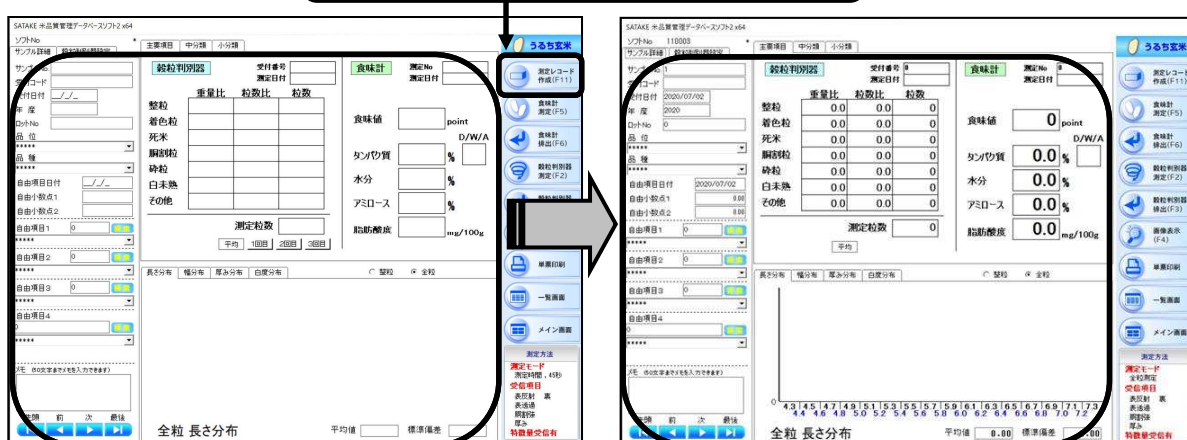
サンプル測定の基本的な操作の流れを説明します。

- ① ソフトウェア起動後「うるち玄米測定」をクリックします。
- ② 穀粒判別器本体のモードと対応した円盤かを確認し、また食味計本体のモードを確認し「OK」をクリックします。



- ③ 「測定レコード作成」をクリックし、空の保存領域（測定レコード）をデータベースに作成します。

#### ③ 「測定レコード作成」をクリック



- 注意 1) インストール直後は「測定レコード作成」をクリックしないと測定出来ません。  
注意 2) 新規の測定レコードを作成していない場合は、上書き測定となります。

- ④ サンプル詳細欄へ測定するサンプルの詳細な情報を入力することでデータの管理が出来、保存された測定データの検索が容易になります。

④ ここにサンプルの詳細情報を 入力します。

- ⑤ 穀粒判別器と食味計の両方を測定する場合、「食味計測定」をクリックし、食味計を測定開始します。次に「穀粒判別器測定」をクリックし、穀粒判別器を測定開始します。  
(1機種の場合は対応する測定ボタンをクリックして測定開始してください。)

注意) 必ず i) 「食味計測定」→ ii) 「穀粒判別器測定」の順番で測定を開始してください。  
ii) を先にクリックした場合、i) がクリック出来なくなります。

i) 「食味計測定」をクリック

ii) 「穀粒判別器測定」をクリック

【ポイント】 キーボードの **F5** 及び **F2** を押した場合も、画面上のボタンをクリックした場合と同様に、測定開始とキャンセル操作が行えます。

⑥ 測定データの保存が完了すると、測定結果が表示されます。

保存画像の種類を表示します。

穀粒判別器の分類を切替えることが出来ます。

表示するグラフを切替えることが出来ます。

穀粒判別器及び食味計の測定結果が表示されます。

「整粒」もしくは「全粒」の分布グラフに切替えることが出来ます。

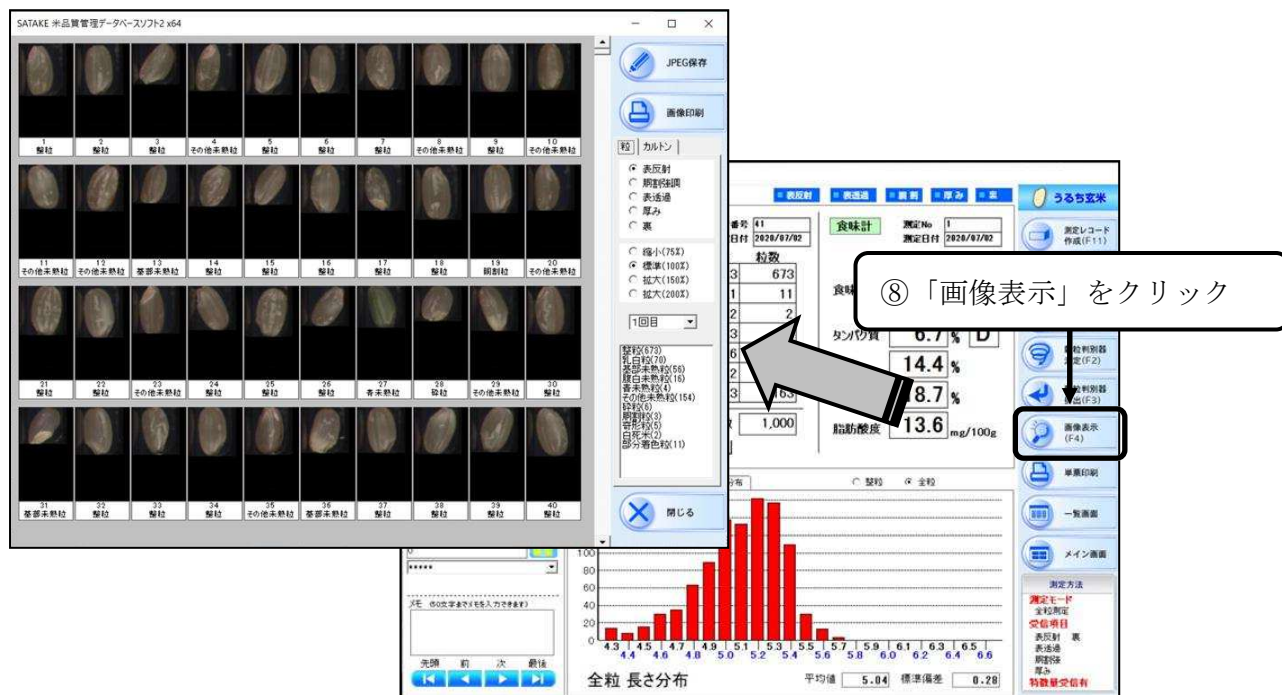
穀粒判別器で測定した【長さ】・【幅】・【厚み】・【白度】分布グラフが表示されます。

⑦ 履歴移動ボタンをクリックすると、保存した測定結果を順次表示することが出来ます。

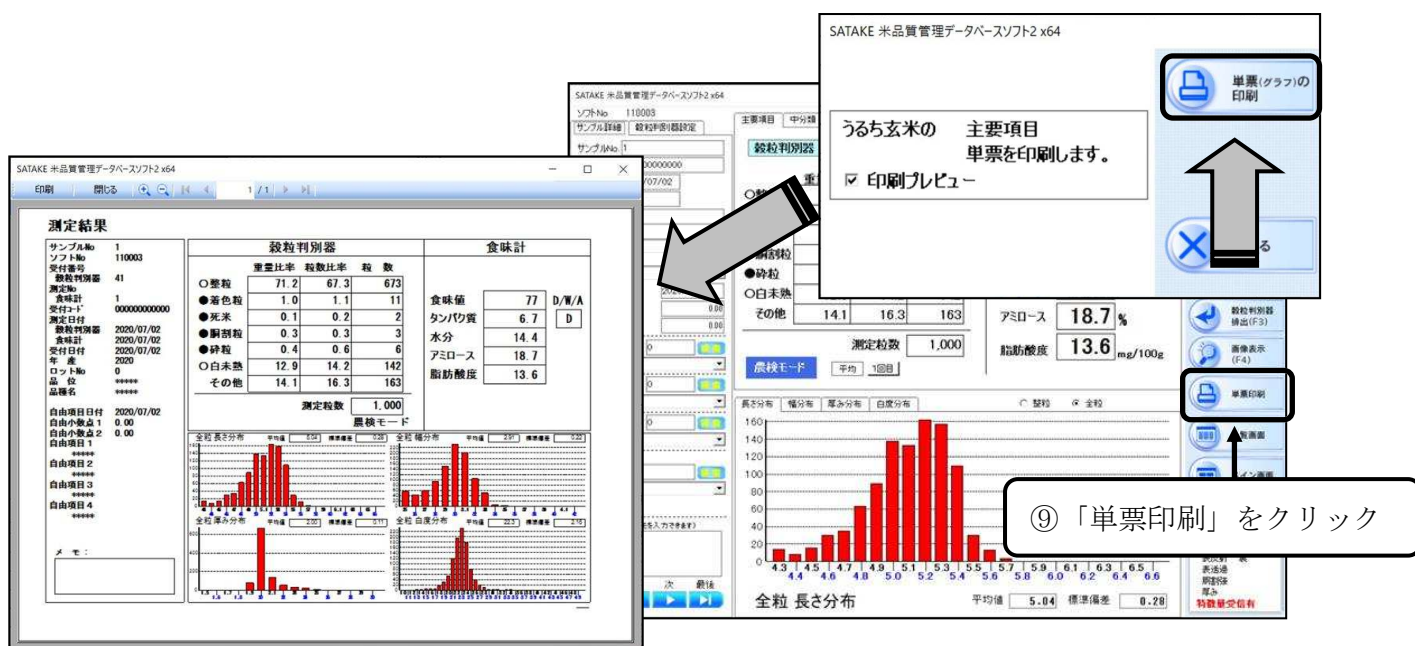
⑦ 履歴移動ボタンをクリック

先頭	最初に保存した測定結果を表示します。
前	表示測定結果の前の結果を表示します。
次	表示測定結果の次の結果を表示します。
最後	最後に保存した測定結果を表示します。

⑧ 「画像表示」をクリックすると、保存した画像が表示されます。



⑨ 「単票印刷」をクリックすると、測定結果の単票印刷画面が表示され、印刷することが出来ます。



⑩ 「一覧画面」を押すと、測定結果の一覧表示をするための絞り込みの画面に移動します。

⑪ 「メイン画面」をクリックすると、起動画面に移動します。

## 3-2 サンプル詳細欄

### 3-2-1 サンプル詳細欄の表示

サンプル詳細欄へ測定するサンプルの詳細な情報を入力することで、データの管理が出来、保存された測定データの検索が容易になります。

「サンプル詳細」タブをクリックして、サンプル詳細欄を表示させます。

The screenshot shows the 'サンプル詳細' (Sample Details) tab selected. The main area contains various input fields for sample information, a table for grain analysis results, and a histogram showing the distribution of grain lengths.

重量比	粒数比	粒数
○整粒	71.2	673
●着色粒	1.0	11
●死米	0.1	2
●割れ粒	0.3	3
●砕粒	0.4	6
○白未熟	12.9	142
その他	14.1	163

### 3-2-2 サンプル詳細欄の設定

① サンプル詳細欄の項目は以下となります。

The diagram illustrates the layout of the 'サンプル詳細' (Sample Details) form. The fields are organized into two columns, with callouts (i) through (xi) pointing to specific input areas:

- i) サンプル No (Sample No.)
- ii) 受付コード (Reception Code)
- iii) 受付日付 (Reception Date)
- iv) 年産 (Year of Production)
- v) ロット No (Lot No.)
- vi) 品位 (Grade)
- vii) 品種 (Variety)
- viii) 自由項目日付 (Free Item Date)
- ix) 自由小数点 1～ (Free Decimal 1~)
- x) 自由項目 1～4 (Free Item 1~4)
- xi) メモ (Memo)

② サンプル詳細欄の内容を説明します。

i) サンプル No【データ入力不可】

測定レコード作成時に、自動的に番号が割り振られます。

重複しない番号が割り振られます。削除したデータの番号は欠番となります。

ii) 受付コード【12桁の数値入力が可能】

穀粒判別器本体の受付コードを保存し、表示します。手入力も可能です。

**注意）穀粒判別器から受付コードを受信する場合は測定画面の「穀粒判別器設定」タブの通信設定「受付コードを受信する」にチェックを入れる必要があります。**

iii) 受付日付【年月日データの入力が可能】

測定サンプルの受付日付、または測定データ受信日付を入力します。

**※最新レコードの受付日付の内容を「測定レコード作成」で次のレコードに引き継ぎます。**

iv) 年産【4桁の数値入力が可能】

測定サンプルの生産年度を入力します。

**※最新レコードの年産の内容を「測定レコード作成」で次のレコードに引き継ぎます。**

v) ロット No【9桁の数値入力が可能】

測定サンプルのロット No を入力します。

**※最新レコードのロット No の内容を「測定レコード作成」で次のレコードに引き継ぎます。**

vi) 品位【マスター設定により 5 文字のテキストの入力が可能】

測定サンプルの品位を選択します。

**※最新レコードの品位の内容を「測定レコード作成」で次のレコードに引き継ぎます。**

vii) 品種【マスター設定により 10 文字のテキストの入力が可能】

測定サンプルの品種名を選択します。

**※最新レコードの品種の内容を「測定レコード作成」で次のレコードに引き継ぎます。**

viii) 自由項目日付【年月日データの入力が可能】

ユーザーが自由な項目で日付を設定出来ます。

**※最新レコードの自由項目日付の内容を「測定レコード作成」で次のレコードに引き継ぎます。**

ix) 自由小数点 1～2【整数部分 4 桁、小数部分 2 桁の数値入力が可能】

ユーザーが自由な項目で数値を設定出来ます。（使用例：別途計測した水分値を入力）

**※最新レコードの自由小数点の内容を「測定レコード作成」で次のレコードに引き継ぎます。**

- x) 自由項目 1～4【マスター設定により自由項目 1～3 は 10 文字、自由項目 4 は 20 文字のテキストの入力が可能】

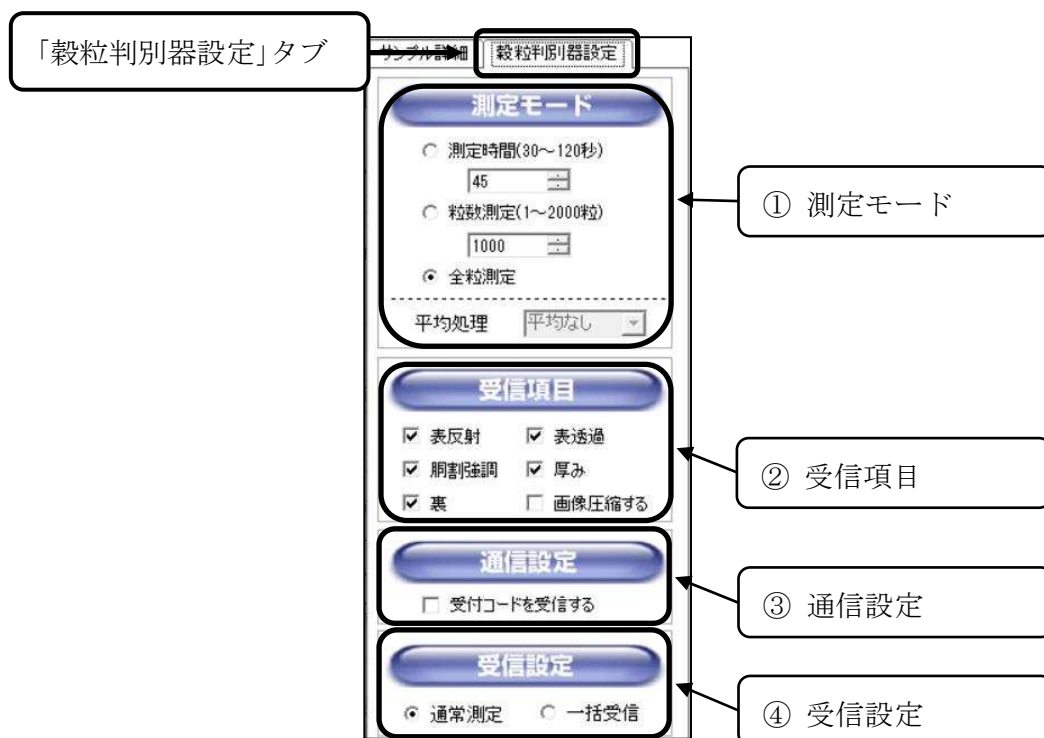
入力する項目をユーザーが自由に設定出来ます。

- xi) メモ【50 文字のテキストの入力が可能】

ユーザーが自由にテキストを入力出来ます。

### 3 - 2 - 3 穀粒判別器に関する測定方法の設定

「穀粒判別器設定」タブをクリックして、サンプルの測定方法を設定します。



#### ① 測定モード設定

##### i) 測定モードの設定変更

穀粒判別器のサンプル測定方法に関する設定を変更します。

「測定時間」：設定した時間経過するかサンプルが無くなると測定を終了します。

「粒数測定」：設定した粒数に達するかサンプルが無くなると測定を終了します。

※粒数が足りなかった場合エラーになり、測定結果が保存されません。(※全粒測定との違い)

「全粒測定」：設定した粒数に達するかサンプルが無くなると測定を終了します。

※粒数の設定は本体で行ってください。

※設定を変更して、測定を開始することで、穀粒判別器本体の設定も変更されます。

平均処理（穀粒判別器の取扱説明書も参照してください。）

「平均 3 回」：1 つのレコード内で 3 回測定することが可能になります。

「平均 2 回」：1 つのレコード内で 2 回測定することが可能になります。

「平均なし」：1 回測定です。

**※ 重量比・粒数比は平均値で保存されます。**

**粒数・測定粒数・統計情報は積算値で保存されます。**

**画像は保存する設定にしていれば測定回数分保存が出来ます。**

**※ 測定(平均)回数が設定した上限に達した場合、**

**そのレコードで測定ボタンをクリックすると上書き測定に切り替わります。**

## ② 受信項目設定

穀粒判別器より受信する画像の種類を選択出来ます。

### i) 設定項目

【表反射】・【胴割強調】・【表透過】・【厚み】・【裏】 の 5 画像の保存設定と圧縮の設定を行います。

#### ア) 表反射画像

サンプルを上側から撮像した反射画像です。

#### イ) 胴割強調画像

サンプルの胴割部分を強調した透過画像です。

#### ウ) 表透過画像

サンプルを上側から撮像した透過画像です。

#### エ) 厚み画像

サンプルを横面（厚み）から撮像した反射画像です。

#### オ) 裏画像

サンプルを裏側から撮像した反射画像です。

#### カ) 画像圧縮する

画像圧縮した場合、画像が少し荒くなりますが、データ容量が小さくなります。

**注意）画像データは非常にデータ容量が大きい為、ハードディスク容量等を考慮し  
必要な画像データのみ受信することをお勧めします。**

### ii) 受信設定

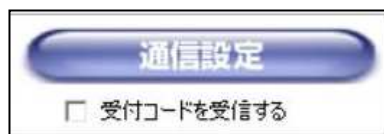
チェックを入れた画像を保存します。

画像圧縮するにチェックを入れると選択した画像が全て圧縮された画像で保存されます。

受信項目	
<input checked="" type="checkbox"/> 表反射	<input checked="" type="checkbox"/> 表透過
<input checked="" type="checkbox"/> 胴割強調	<input checked="" type="checkbox"/> 厚み
<input checked="" type="checkbox"/> 裏	<input type="checkbox"/> 画像圧縮する

### ③ 通信設定

穀粒判別器より受付コードを受信する場合「受付コードを受信する」にチェックを入れてください。



### ④ 受信設定

測定データの受信方法を「通常測定」・「一括受信」の2つのモードより選択することが出来ます。使用したいモードをクリックします。

#### i) 通常測定

本ソフトウェアから穀粒判別器へ測定命令を送信し測定データを受信する通常モードです。

#### ii) 一括受信

穀粒判別器内部に保存された測定データを、本ソフトウェア内へ一度に受信し保存します。現場などで取りためたデータを持ち帰って、一括で受信したい場合に使います。

注意 1) 本ソフトウェアへ既に保存されているデータは受信されません。

注意 2) うるち玄米・うるち精米・醸造用玄米それぞれの一括受信機能を使用してください。種類の異なるデータは受信しません。

注意 3) 一括受信により取得した測定データでは、整粒ヒストグラムの分布の機能をご利用になれません。

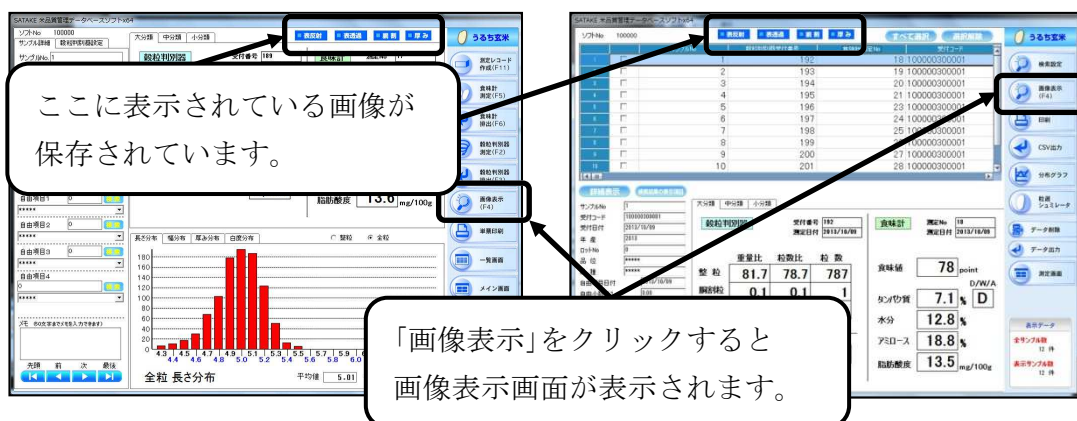
### 3 - 3 受信画像の表示

穀粒判別器から取得した米画像を表示することが出来ます。

- 注意 1) 画像を表示するには、画像データを受信しておく必要があります。  
 注意 2) 受信画像の選択については、受信項目の設定を確認してください。

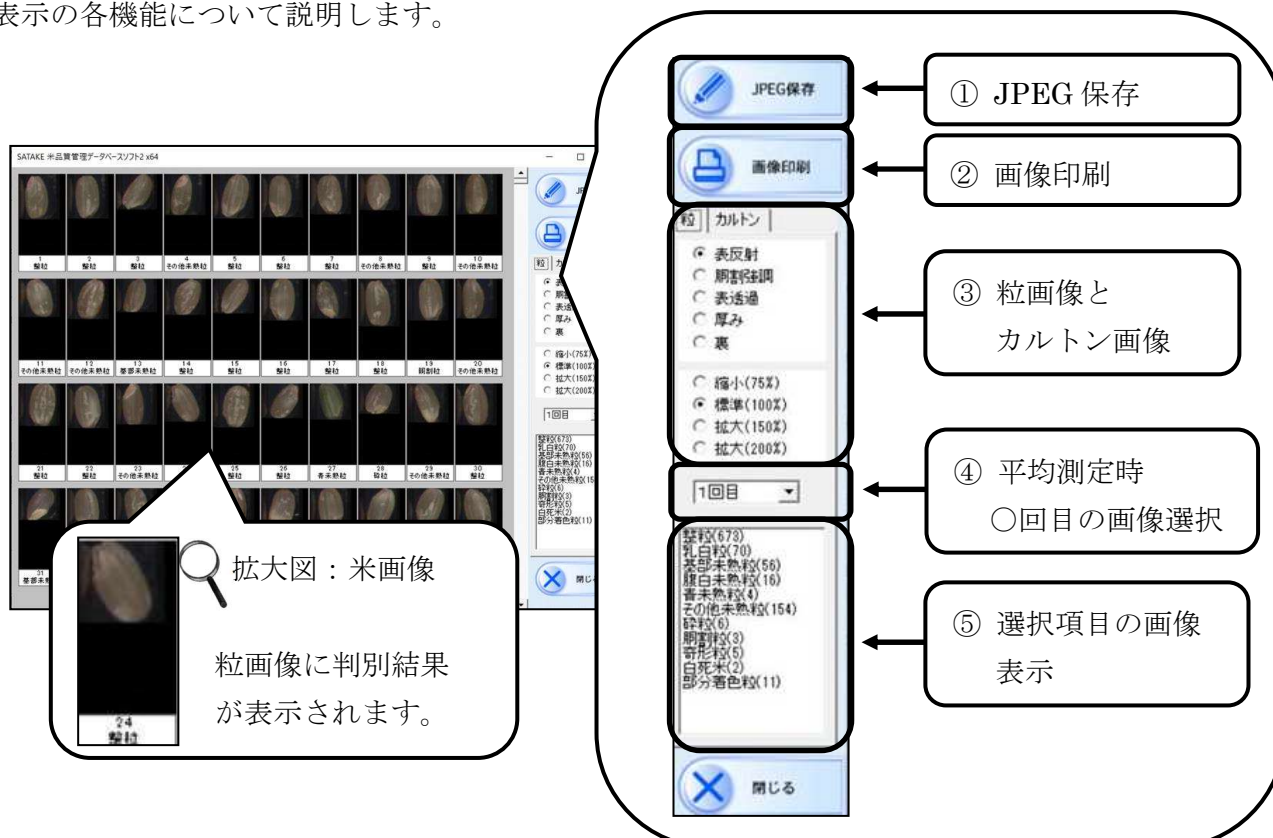
#### 3 - 3 - 1 受信画像の表示

「画像表示」をクリックして、画像を表示します。



#### 3 - 3 - 2 画像表示の機能

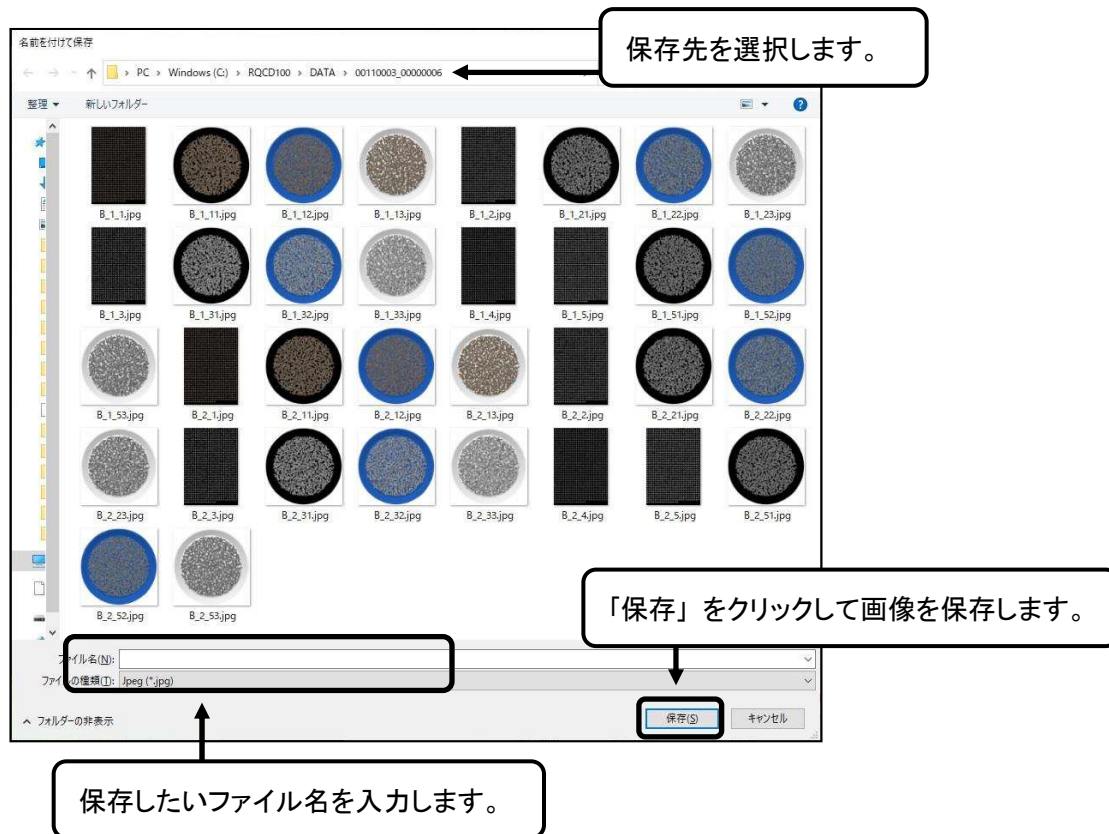
画像表示の各機能について説明します。



## ① JPEG 保存

表示中のサンプル画像を、JPEG ファイル（画像ファイル）として出力出来ます。

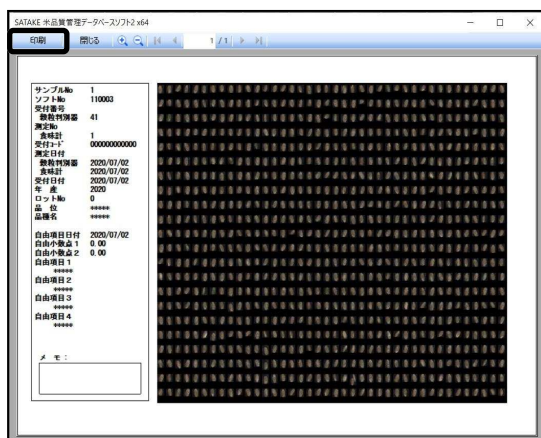
- i) 「JPEG 保存」をクリックします。
- ii) 保存先の選択画面が表示されるので、保存先とファイル名を決定して、「保存」を選択します。



B\_1\_1: 玄米\_1 回目\_表反射      B\_1\_2: 玄米\_1 回目\_表透過      B\_1\_3: 玄米\_1 回目\_胴割強調  
B\_1\_4: 玄米\_1 回目\_厚み      B\_1\_5: 玄米\_1 回目\_裏

## ② 画像印刷

- i) 「画像印刷」をクリックすると、全粒画像の印刷プレビューが表示されます。
- 「印刷」をクリックするとお客様の A4 プリンターで印刷することが可能です。

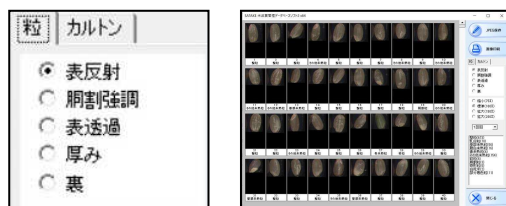


### ③ 粒画像とカルトン画像

#### ・粒画像

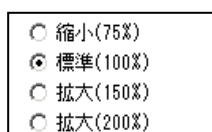
##### i) 粒画像の種類変更

表示する画像の種類を選択します。表示する画像のチェックボックスへチェックを入れてください。



##### ii) 粒画像の表示倍率変更

表示する画像の倍率を変更出来ます。表示させる倍率のチェック欄へチェックを入れてください。



##### ii) 平均測定時○回目の粒画像選択

平均測定時に画像保存していれば最大3回分の画像を保存し、○回目を選択して表示出来ます。



#### ・カルトン画像

カルトン画像とは粒画像をカルトンの画像の上に無造作に並びかえた画像です。

穀粒判別器本体側で保存する設定にしている場合のみに保存・表示することが可能です。

**※ 画像圧縮設定にしている場合は保存出来ません。対応する粒画像がない場合も保存出来ません。**

##### i) カルトン画像の種類変更

表示する画像の種類を選択します。表示する画像のチェックボックスへチェックを入れてください。



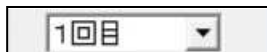
##### ii) カルトン画像の背景色変更

背景色を選択します。表示する色のチェックボックスへチェックを入れてください。



##### iii) 平均測定時○回目のカルトン画像選択

平均測定時に画像保存していれば最大3回分の画像を保存し、○回目を選択して表示出来ます。



#### ④ 選択項目の画像表示

選択された分類の画像のみ画面内に表示されます。全ての選択を解除すると、全粒画像が表示されます。

**【ポイント】** 選択項目の画像表示機能と合わせて使用すると、必要な画像のみ JPEG ファイルに変換することができます。

### 3 - 4 印刷(単票印刷)

測定結果を印刷します。

**【ポイント】** 測定画面の単票印刷は表示中の分類(穀粒判別器)で印刷を行います。  
複数の単票を印刷する場合は、一覧画面の印刷機能をご利用ください。

#### 3 - 4 - 1 単票印刷設定の表示

「単票印刷」をクリックして、印刷設定画面を表示させます。

印刷したい分類を選択します。

「単票印刷」をクリックします。

① 印刷プレビュー

② 単票(グラフ)の印刷

### 3 - 4 - 2 単票印刷の機能

単票印刷の各機能について説明します。

#### ① 印刷プレビュー

単票(グラフ) の印刷プレビューを表示します。プレビューを表示させない場合は、「印刷プレビュー」 のチェックボックスのチェックを外してください。

#### ② 単票(グラフ) の印刷

##### i) 印刷

「単票(グラフ) の印刷」 をクリックします。

##### ii) 印刷内容

サンプル詳細欄、測定分類（主、中、小分類）、その他（長さ、幅、厚み、白度）

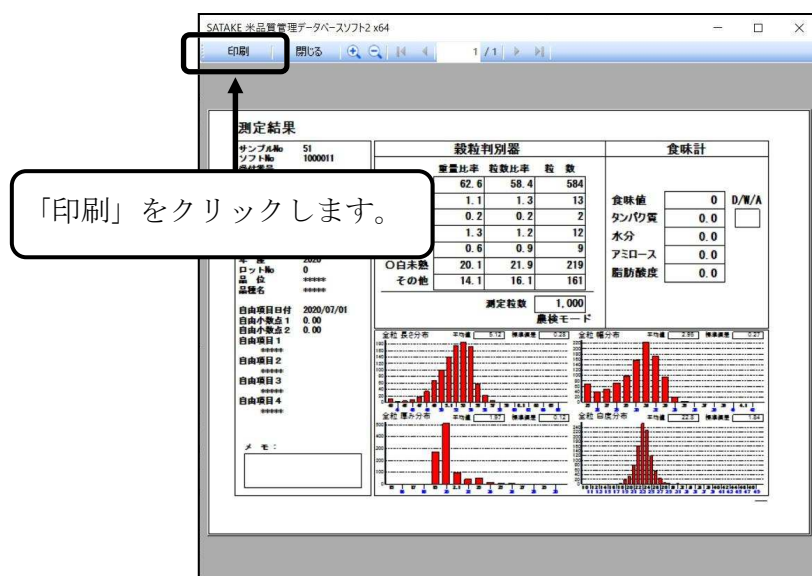
##### i) 印刷開始と終了

###### ア) 印刷開始

「印刷」 をクリックすると、プリンターの選択が表示されます。使用するプリンターを選択して印刷を開始してください。

###### イ) 閉じる

「閉じる」 をクリックすると、印刷プレビューを終了します



## 4) 一覧画面の操作

### 4-1 一覧画面の機能

#### 4-1-1 一覧画面

測定結果を一覧で表示します。

測定画面の「一覧画面」→ 絞り込み「検索開始」→ 一覧画面 が表示されます。

注意) 一覧画面に表示される測定データは、検索の条件で絞り込まれたデータです。  
全ての測定データを表示していない場合があります。  
絞り込みの設定をしていない場合は一覧画面に全件表示されます。

The image shows two screenshots of the SATAKE product management software. The left screenshot is the search screen, and the right screenshot is the list screen. A large arrow points from the search screen to the list screen, indicating the transition.

**Search Screen (Left):**

- Search criteria: Sample No. 110003, Product No. 000000000000, Lot No. 0, Date 2020/07/02.
- Search results: A table showing search results for "うるち玄米" (Uruchi Genmai).
- Search button: A button labeled "検索開始" (Start Search) is highlighted.

**List Screen (Right):**

- Search criteria: Same as the search screen.
- Search results: A table showing search results for "うるち玄米" (Uruchi Genmai).
- Search button: A button labeled "検索開始" (Start Search) is highlighted.

**Navigation:**

- A button labeled "一覧画面をクリック" (Click List Screen) is shown on the search screen.
- A button labeled "検索開始をクリック" (Click Start Search) is shown on the search screen.

**Table Data (List Screen):**

サンプルNo	穀粒判別器	穀粒判別器受付番号	食味計No	受付コード
1	1	41	1	000000000000
2	3	5	0	000000000000
3	4	6	0	000000000000
4	5	7	0	000000000000
5	6	7	0	000000000000
6	7	7	0	000000000000
7	8	17	0	000000000000
8	9	17	0	000000000000
9	10	18	0	000000000000
10	11	19	0	000000000000

**Search Results (List Screen):**

穀粒判別器	重量比	粒数比	粒数
○整粒	71.2	67.3	673
●着色粒	1.0	1.1	11
●死米	0.1	0.2	2
●崩壊粒	0.3	0.3	3
●砕粒	0.4	0.6	6
○白未熟	12.9	14.2	142
その他	14.1	16.3	163

**Search Results (List Screen):**

食味計	食味値	タンパク質	水分	アミロース	脂肪酸度
77 point	77 point	6.7 %	14.4 %	18.7 %	13.6 mg/100g

#### 4-1-2 測定データの一覧表示

検索された測定データが一覧に表示されます。

測定データの項目名称を表示します。

	サンプルNo	穀粒判別器受付番号	食味計測定No	受付コード
1	1	41	1	000000000000
2	3	5	0	000000000000
3	4	6	0	000000000000
4	5	7	0	000000000000
5	6	8	0	000000000000
6	7	9	0	000000000000
7	8	10	0	000000000000
8	9	11	0	000000000000
9	10			
10	11			

選択した測定データは青く表示されます。

#### 4-1-3 測定データの詳細表示

測定データを選択すると、選択された測定データが一覧画面下に表示されます。

詳細表示

サンプルNo 1

受付コード 000000000000

受付日付 2020/07/02

年 度 2020

ロットNo 0

品 位 \*\*\*\*\*

品 種 \*\*\*\*\*

自由項目日付 2020/07/02

自由小粒点1 0.00

自由小粒点2 0.00

自由項目1 \*\*\*\*\*

自由項目2 \*\*\*\*\*

自由項目3 \*\*\*\*\*

自由項目4 \*\*\*\*\*

メモ

主要項目 中分類 小分類

穀粒判別器 受付番号 41

測定日付 2020/07/02

	重量比	粒数比	粒数
○整粒	71.2	67.3	673
●着色粒	1.0	1.1	11
●死米	0.1	0.2	2
●胴割粒	0.3	0.3	3
●砕粒	0.4	0.6	6
○白未熟	12.9	14.2	142
その他	14.1	16.3	163

測定粒数 1,000

農検モード

食味計 測定No 1

測定日付 2020/07/02

食味値 77 point

タンパク質 6.7 % D/W/A

水分 14.4 %

アミロース 18.7 %

脂肪酸度 13.6 mg/100g

#### 4-1-4 一覧コマンド

一覧で選択した測定データを元に、グラフ作成・印刷・データ出力・データ削除等様々な処理を行うことが出来ます。



- ① 検索設定
- ② 画像表示
- ③ 印刷
- ④ CSV 出力
- ⑤ 分布グラフ
- ⑥ 粒選シミュレータ
- ⑦ データ削除
- ⑧ データ出力
- ⑨ 測定画面

① 検索設定

一覧へ表示する測定データの表示条件を設定する検索条件の画面が表示されます。

② 画像表示

画像データが保存されている場合、画像が表示されます。

③ 印刷

選択した測定データの一覧、単票を連続で印刷します。

④ CSV 出力

選択した測定データを Microsoft Excel 等の表計算ソフトで読込める CSV 形式でファイル出力します。

⑤ 分布グラフ

選択した測定データを元に、測定分類毎の分布グラフを作成し、結果を印刷出来ます。

⑥ 粒選シミュレータ

選択した測定データを元に、厚みデータを使用した粒選工程をシミュレートする分布グラフを作成し、結果を印刷出来ます。

⑦ データ削除

選択した測定データを削除します。

⑧ データ出力

選択した測定データのコピーが出来ます。

⑨ 測定画面

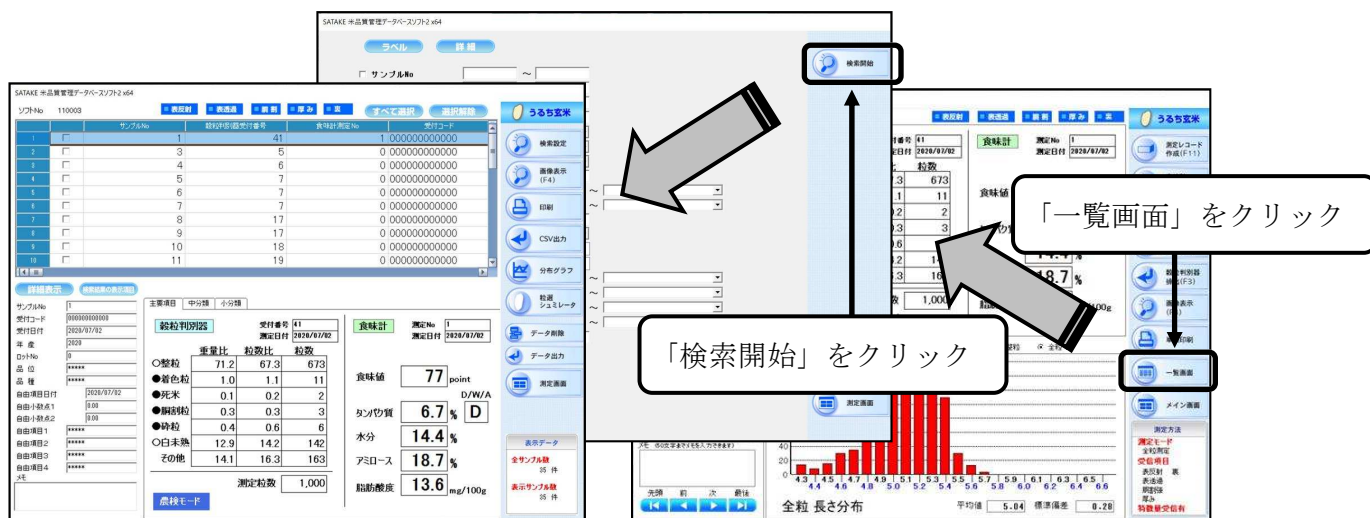
測定画面に戻ります。

## 4-2 一覧の操作

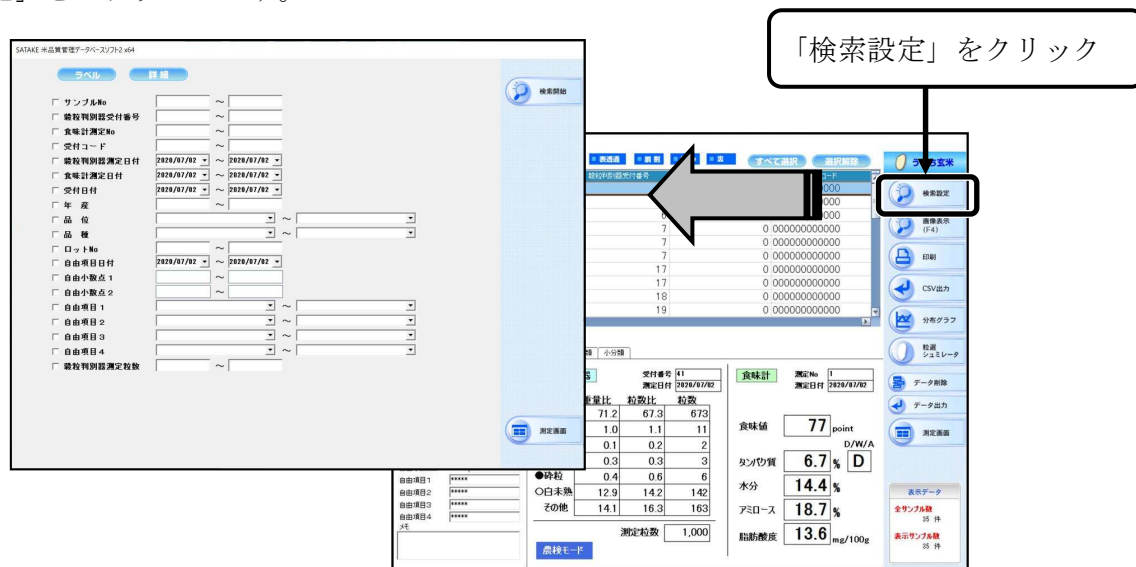
一覧機能の操作方法を説明します。

### 4-2-1 一覧の基本的な操作

① 測定画面の「一覧画面」→「検索開始」→一覧画面が表示されます。



② 一覧画面へ検索条件で絞り込みされた測定データが表示されます。再度検索を行いたい場合は、「検索設定」をクリックします。



③ 検索条件を入力し、一覧画面へ絞り込みした測定データを表示します。

④ 一覧表示中の測定データの詳細を確認するには、確認したい測定データをクリックし、表示の色を反転させます。

⑤ 一覧画面下部の測定データの詳細表示部分に反転させたデータの情報が表示されます。

詳細な情報を表示させたい測定データをクリックし表示の色を反転させます。

選択された測定データの詳細な情報が表示されます。

⑥ 一覧へ表示された測定データを元に、一覧コマンドにある機能を活用したい場合は、一覧画面上部にある「すべて選択」をクリックするか、一覧内左側にあるチェックボックスをクリックして、チェックを入れてください。

拡大図：すべて選択 選択解除  
チェックボックスの一括チェック・一括解除が出来ます。

すべて選択    選択解除

拡大図：チェックボックス  
必要な測定データにチェックを入れます。

1	<input checked="" type="checkbox"/>
2	<input checked="" type="checkbox"/>
3	<input checked="" type="checkbox"/>
4	<input checked="" type="checkbox"/>
5	<input type="checkbox"/>
6	<input type="checkbox"/>

⑦ 印刷、CSV 出力、分布グラフ、粒選シミュレータ、データ削除、データ出力等の各機能は、⑥ で選択された測定データに対して処理が行われます。

## 4-3 検索設定の使用方法

検索条件の設定方法を説明します。

### 4-3-1 検索条件の入力

検索条件は、各検索条件の入力欄へ【左欄以上】～【右欄以下】の条件で入力します。

注意）必ず左欄の数値を右欄の数値以下に設定してください。

### 4-3-2 検索条件の使用、未使用

検索条件に使用する項目には、各項目の左にあるチェックボックスをクリックしてチェックを入れてください。

例）サンプル No の 1 番から 400 番を検索する場合

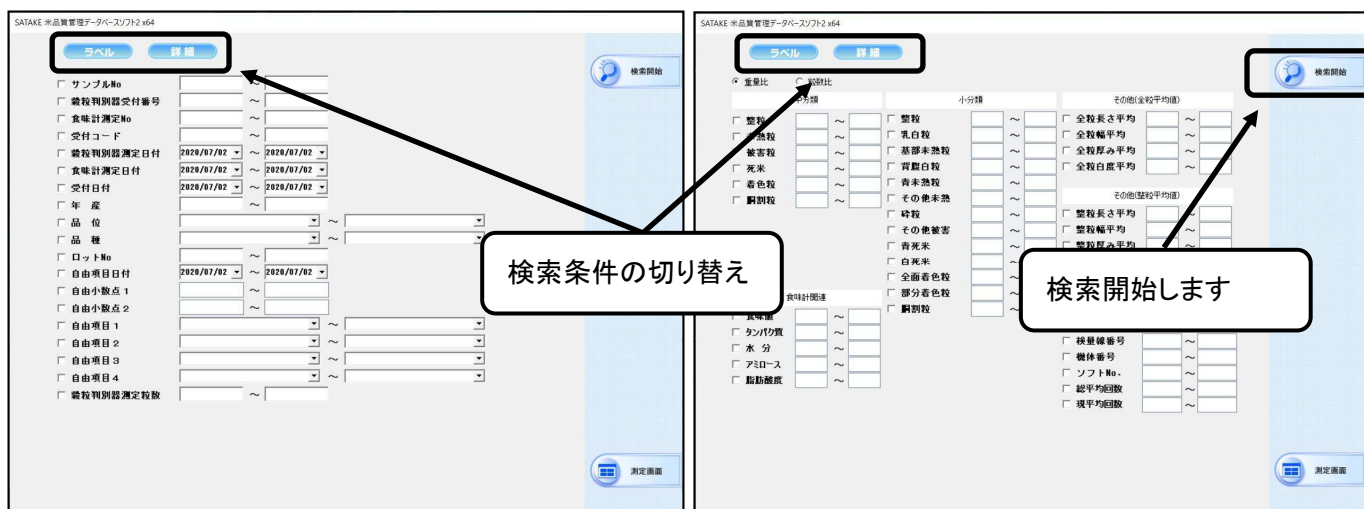


### 4-3-3 検索開始

検索条件を入力した後に、「検索開始」をクリックして、検索を実行してください。  
自動的に一覧画面へ移動し、検索条件に合った測定データが一覧に表示されます。  
検索条件が指定されていない場合は、全件を表示します。

### 4-3-4 詳細な条件

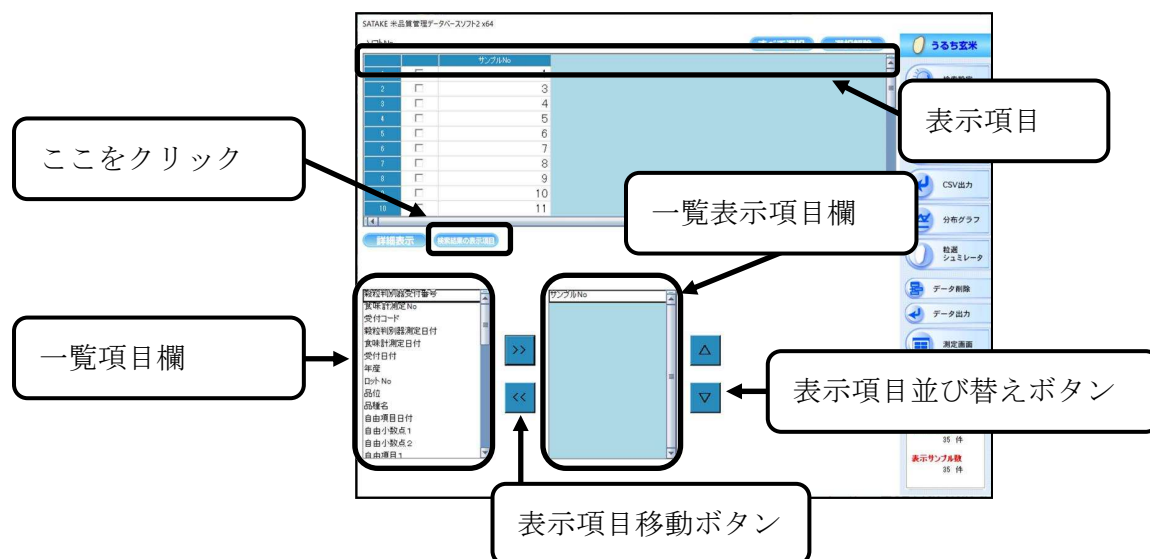
検索条件には、ラベル（主にサンプル詳細ラベル項目）と詳細（主に測定データ項目）があります。



## 4-4 一覧項目の表示

### 4-4-1 一覧項目の表示



一覧内の表示項目の並び、表示・非表示を変更することが出来ます。





### 4-4-2 一覧項目表示設定の操作

一覧項目の並び替えと表示・非表示設定について説明します。

#### ① 一覧項目の表示・非表示設定

- i) 表示したい項目を一覧項目欄より選択します。
- ii) 表示コマンドの  をクリックします。
- iii) 一覧表示欄に表示したい項目が追加されます。
- iv) 一覧表示項目欄より目的の項目を選択し、非表示  をクリックすると、一覧表示項目欄より削除されます。

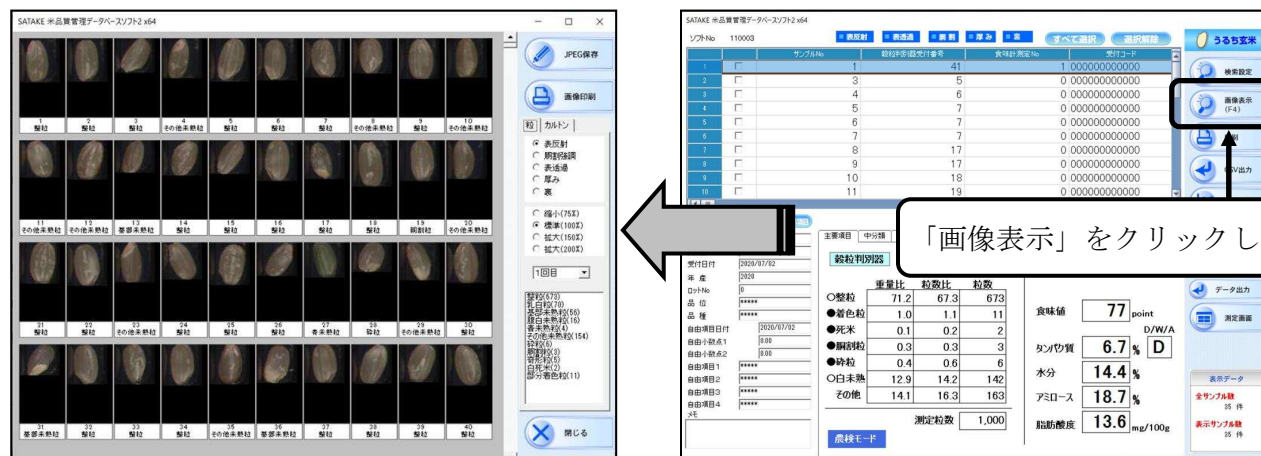
#### ② 一覧項目の並び替え

- i) 一覧表示項目欄より並び替えたい項目をマウスで選択します。
- ii) 並び替えコマンドをクリックします。
- iii) 現在の項目位置よりも一覧の左側へ表示する場合は、上  をクリックします。
- iv) 現在の項目位置よりも一覧の右側へ表示する場合は、下  をクリックします。

## 4 - 5 画像の表示

### 4 - 5 - 1 画像の表示

一覧で選択した測定データに画像が保存されている場合は、「画像表示」をクリックすると、画像が表示されます。

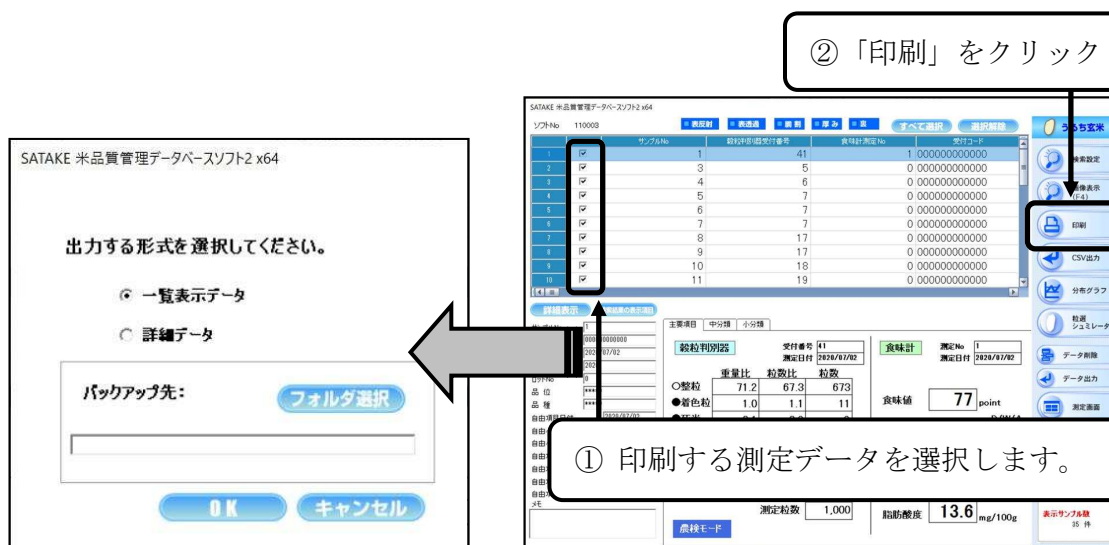


注意) 画像データの表示には、画像データを受信しておく必要があります。

## 4 - 6 印刷

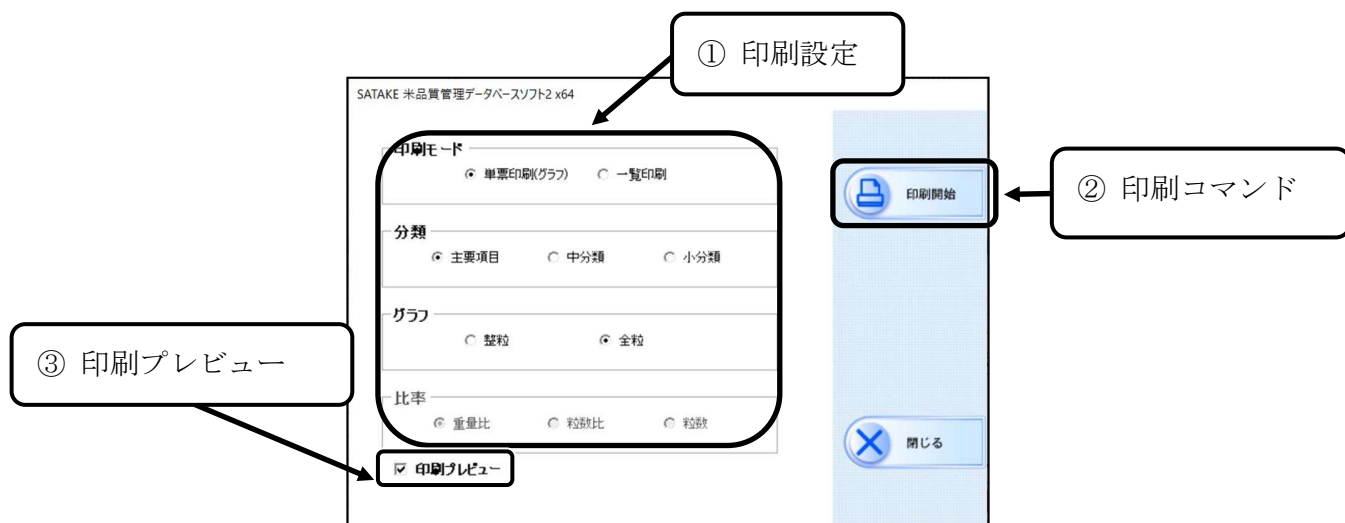
### 4 - 6 - 1 印刷設定画面の表示

- ① 一覧より印刷する測定データを選択します（1 データ以上）。
- ② 「印刷」をクリックし、印刷設定画面を表示させます。



## 4-6-2 印刷設定の機能

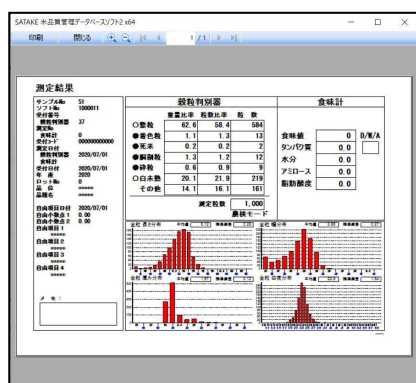
印刷設定画面には、印刷設定・印刷コマンド・印刷プレビューの機能があります。



### ① 印刷設定

#### i) 印刷モード設定

印刷された測定データの印刷を、単票形式・一覧形式で選択します。



単票

サンプルNo.	測定日時	検量表	食味計	粒数	重量比	粒数比	粒数
1	2020/10/01	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
2	2020/10/01	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
3	2020/10/01	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
4	2020/10/01	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
5	2020/10/01	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
6	2020/10/01	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
7	2020/10/01	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
8	2020/10/01	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
9	2020/10/01	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
10	2020/10/01	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
11	2020/10/01	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
12	2020/10/01	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
13	2020/10/01	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
14	2020/10/01	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
15	2020/10/01	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
16	2020/10/01	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
17	2020/10/01	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
18	2020/10/01	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
19	2020/10/01	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
20	2020/10/01	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0

一覧

#### ii) 分類設定

印刷分類データを、主要項目・中分類・小分類より選択します。

#### iii) 比率設定（一覧印刷のみ有効）

印刷分類データの表示を、重量比・粒数比・粒数より選択します。

### ② 印刷コマンド

印刷モード設定により、単票印刷と一覧印刷が出来ます。

### ③ 印刷プレビュー

印刷プレビューにチェックを入れて、印刷を開始すると、印刷プレビュー画面が表示されます。

## 4 - 7 CSV 出力

### 4 - 7 - 1 CSV ファイル出力

測定データを CSV ファイル形式で出力することが出来ます。

#### 【メモ】

- CSV ファイルとは、値（数値やテキスト等）をコンマ（,）で区切ったテキストファイルのことを言います。
- 表計算ソフトで値の表示や編集を行うことができます。
- Microsoft Excel 等で CSV ファイルを読み込む場合は、一度 Microsoft Excel で CSV ファイルを認識させる必要があります。

### 4 - 7 - 2 CSV 出力設定画面

- ① 一覧より CSV 出力する測定データを選択します（1 データ以上）。
- ② 「CSV 出力」 をクリックし、CSV 出力設定画面を表示させます。

SATAKE 米品質管理データベースソフト2 x64

出力する形式を選択してください。

☒ 一覧表示データ  
☐ 詳細データ

バックアップ先:

② 「CSV 出力」 をクリックします。

① CSV 出力する測定データを選択します。

### 4 - 7 - 3 CSV 出力設定

CSV ファイル出力の設定について説明します。

SATAKE 米品質管理データベースソフト2 x64

出力する形式を選択してください。

① 出力形式の選択 → ☒ 一覧表示データ  
☐ 詳細データ

② フォルダ選択 → バックアップ先:

## ① 出力形式の選択

### i) 「一覧表示データ」

一覧で選択されたデータを、表示されている項目にて CSV ファイルで出力します。

【ポイント】 一覧で表示される項目や項目の並びを変更することで、より目的に合った CSV ファイルを出力出来ます。

### ii) 「詳細データ」 ID (粒番号)・AreaU(表面積)・AreaS(横面積)・Length(長さ)・Width(幅)・Thick(厚み)・Hakudo(白度)・Volume(推定体積)・Aspect(縦横比)・Hanbetsu(判別結果)の各データを測定サンプル 1 粒毎に CSV ファイルとして出力します。

判別結果 (Hanbetsu) は以下の数値データとして出力されます。

玄米の判別番号と判別結果

判別番号	玄米判別結果
0,1,2,3	整粒
4,23	乳白粒
5,24	基部未熟粒
6,25	背腹白粒
7	青未熟粒
8	その他未熟粒
9	砕粒
10	胴割粒
11,12,13, 14,15,16, 17,18	その他被害粒
19	青死米
20	白死米
21	全面着色粒
22	部分着色粒

※23,24,25は白未熟粒

精米の判別番号と判別結果

判別番号	精米判別結果
0,1	完全粒
2	胴割粒
3	全粉状質粒
4	半粉状質粒
5	背腹白粒
6	損傷粒
7	その他被害粒
8,9	部分着色粒
10	全面着色粒
11	砕粒
12	異種
13	異物

醸造用玄米の判別番号と判別結果

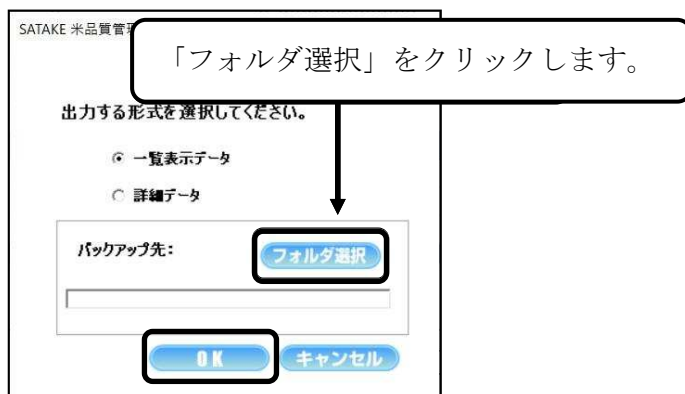
判別番号	醸玄判別結果
0,5	心白整粒
1,2,3,4	無心白整粒
6,7,9	心白その他未熟粒
8	青未熟粒
10	無心白その他未熟粒
11	砕粒
12	胴割粒
13,14,15, 16,17,18, 19,20	その他被害粒
21	青死米
22	白死米
23	全面着色粒
24	部分着色粒

## ② CSV ファイルの出力フォルダの選択

保存フォルダを選択します。



「フォルダ選択」をクリックします。



### ③ ファイルの出力

ファイル出力先を設定した後に、「OK」をクリックすると、CSV ファイルが出力されます。

**注意）複数の詳細データを出力する場合、データ容量及びファイル数が非常に多くなりますのでご注意ください。**

## 4 - 8 分布グラフ

### 4 - 8 - 1 分布グラフ画面

- ① 一覧より分布グラフ作成の測定データを選択します（1 データ以上）。
- ② 「分布グラフ」をクリックすると、分布グラフ画面が表示されます。



### 4 - 8 - 2 分布グラフ機能で出来ること

測定データを使用した分布グラフの作成と印刷が出来ます。

うるち玄米及び醸造用玄米分布グラフ作成可能項目(分類項目は、重量比・粒数比の選択が可能です。)

穀粒判別器
整粒
胴割粒
未熟粒
被害粒
死米
着色粒

形状白度
長さ
幅
厚み
白度

食味計
食味値
アミロース
タンパク質
水分
脂肪酸度

うるち精米分布グラフ作成可能項目 (分類項目は、重量比・粒数比の選択が可能です。)

穀粒判別器
完全粒
碎粒
粉状質粒
被害粒
着色粒
異種・異物

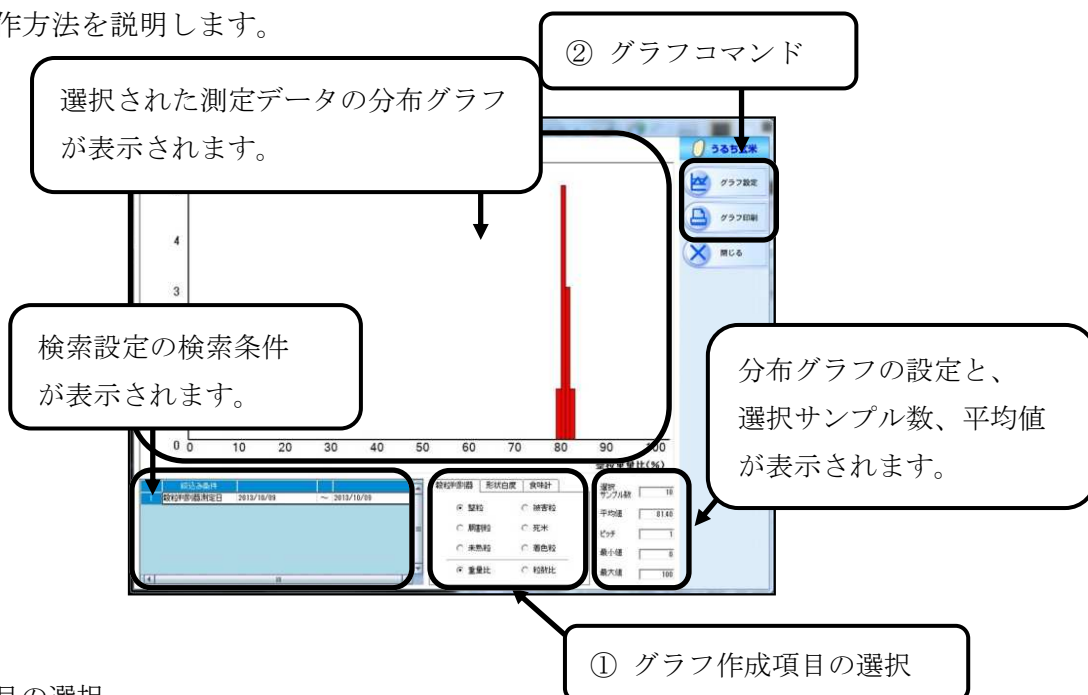
形状白度
長さ
幅
厚み
白度

食味計
食味値
アミロース
タンパク質
水分

※その他測定では、分布グラフの表示は出来ません。

## 4-8-3 分布グラフの操作

分布グラフの操作方法を説明します。



### ① グラフ作成項目の選択

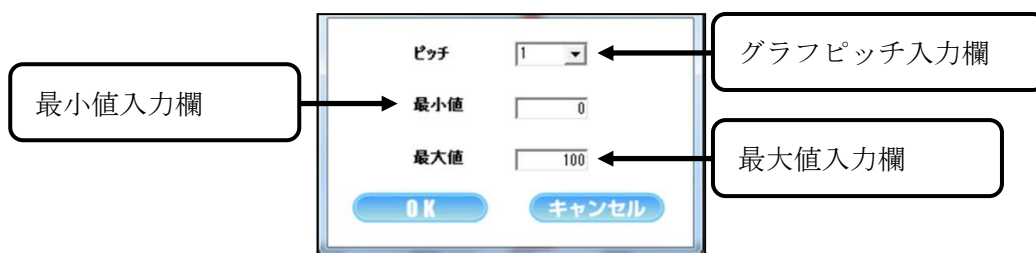
分布グラフを作成したい項目をクリックすると、選択された項目の分布グラフが作成されます。

### ② グラフコマンド

#### i) グラフ設定

X軸の最小値、最大値、ピッチを自由に設定出来ます。

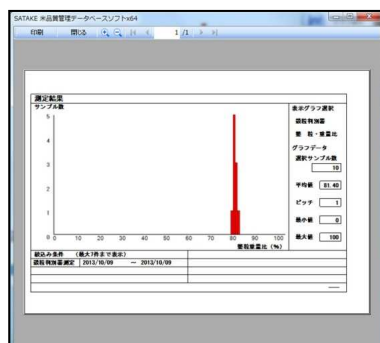
「グラフ設定」をクリックして、分布グラフ設定画面を表示させ、各項目を設定してください。設定値を元にグラフを作成します。



#### ii) グラフ印刷

作成した分布グラフを印刷することが出来ます。

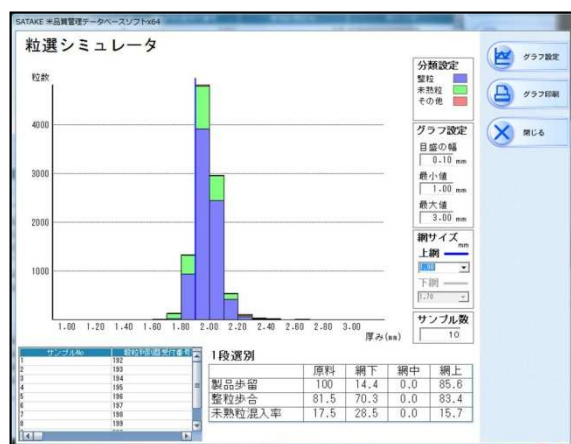
「グラフ印刷」をクリックすると、印刷プレビュー画面が表示されます。印刷を実行する場合は、印刷をクリックしてください。



## 4-9 粒選シミュレータ

### 4-9-1 粒選シミュレータ画面

- ① 一覧より粒選シミュレータ作成の測定データを選択します（1 データ以上）。
- ② 「粒選シミュレータ」をクリックすると、粒選シミュレータ画面が表示されます。



「粒選シミュレータ」をクリックすると選択した測定データの粒選シミュレータ画面が表示されます。

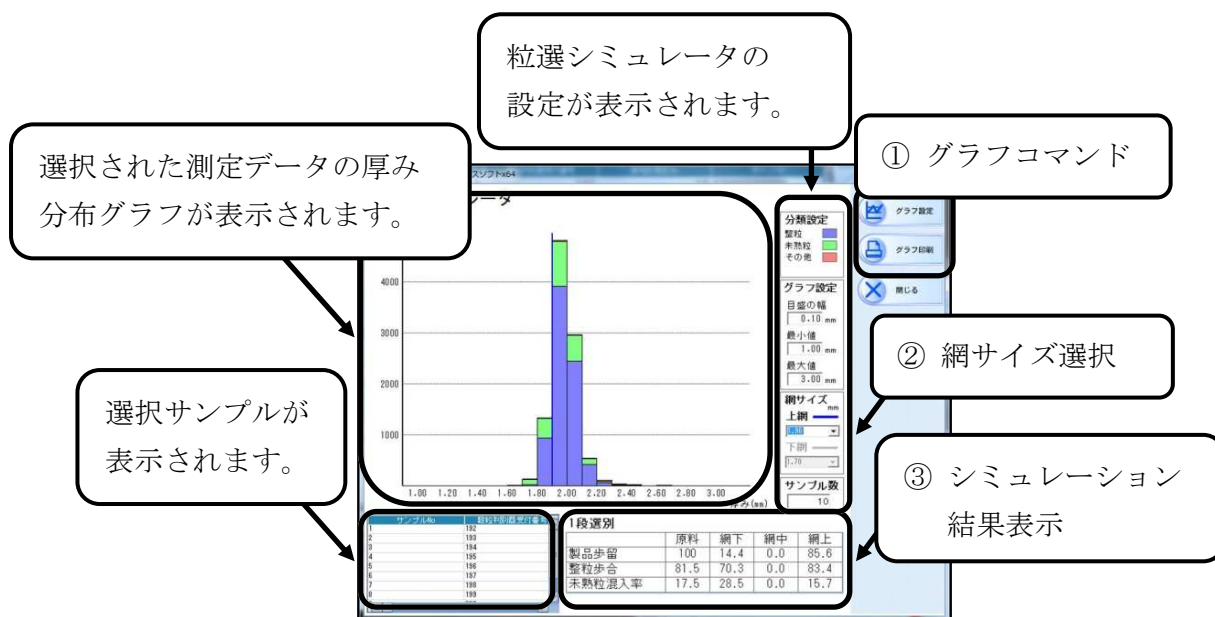
粒選シミュレータを作成する測定データを選択します。

### 4-9-2 粒選シミュレータ機能で出来ること

- ① 粒選シミュレータでは、測定サンプルの厚み分布図の作成と、網選別を行った際の重量比を元にした製品歩留、整粒歩合、未熟粒混入率を網上、網中、網下でシミュレートします。
- ② 厚みによる分布グラフを作成します。分布グラフはうるち玄米の場合、整粒、未熟粒、その他を厚み毎に粒数により表示します。
- ③ 選別する網の段数を設定出来ます。最大で2段階選別までシミュレーションが行え、網上、網中、網下の製品歩留、整粒歩合、未熟粒混入率が計算出来ます。

## 4-9-3 粒選シミュレータの操作

粒選シミュレータの操作方法を説明します。



### ① グラフコマンド

#### i) 「グラフ設定」

粒選シミュレータに関する設定を変更出来ます。

#### ア) 分類設定

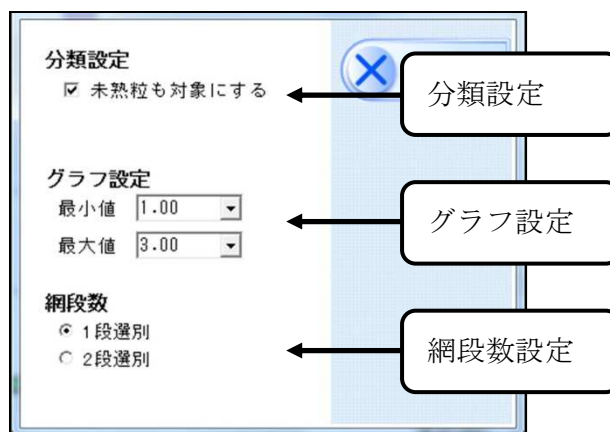
分布グラフの未熟粒表示の設定をします。未熟粒を表示するには、チェックボックスをクリックして、チェックを入れてください。

#### イ) グラフ設定

X 軸の最小値、最大値、ピッチを自由に設定出来ます。各項目設定後、設定値を元にグラフを作成します。

#### ウ) 網段数設定

選別する網の段数を設定出来ます。2 段選別でシミュレートすると、網中の製品歩留、整粒歩留、未熟粒混入率が計算されます。




## ii) 「グラフ印刷」

作成した分布グラフを印刷することが出来ます。

ア) 「グラフ印刷」をクリックし、印刷プレビュー画面が表示されるので、印刷を実行する場合は、「印刷」をクリックしてください。

## ② 網サイズ選択

網サイズの  をクリックすると、網サイズのリストが表示されます。目的の網サイズを選択すると、選択網サイズでシミュレートします。



## ③ シミュレート結果表示

選択された網のサイズを元に、製品歩留、整粒歩合、未熟粒混入率を表示します。

### i) 網上

選択された上網サイズ以上の厚みサンプル

### ii) 網中

選択された下網サイズ以上～上網サイズ未満の厚みサンプル

### iii) 網下

選択された下網サイズ未満の厚みサンプル

### iv) 各項目の計算式

#### ※網上サンプルの計算式

製品歩留 = 網上サンプル重量 ÷ 全重量

整粒歩合 = 網上整粒重量 ÷ 網上サンプル重量

未熟粒混入率 = 網上未熟粒重量 ÷ 網上サンプル重量

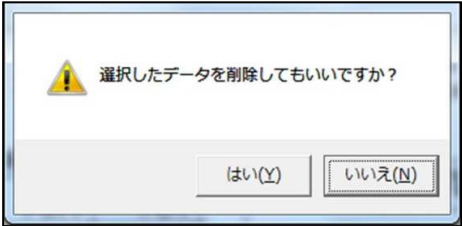
注意) シミュレーション結果は、製品歩留、整粒歩合、未熟粒混入率を重量比で計算、表示します。

## 4-10 データ削除とデータ出力

### 4-10-1 データ削除とデータ出力

一覧より選択されたデータの削除と出力が行えます。

データ削除



選択したデータを削除してもいいですか？

データ出力

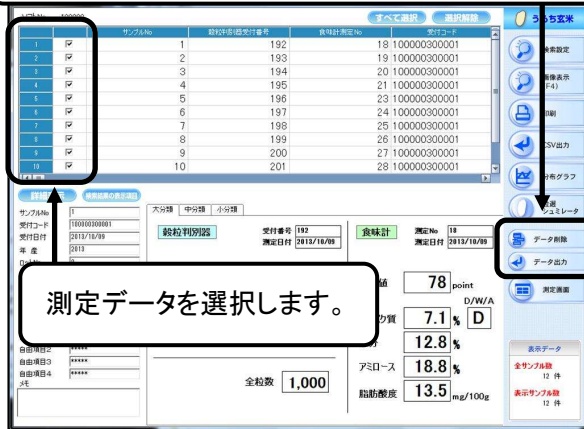


データ出力先:

☒ 画像データの出力 ☐ 移動元データの削除

ファイルの容量: 45MByte

「データ削除」と「データ出力」をクリックすると、選択測定データの削除と出力が出来ます。

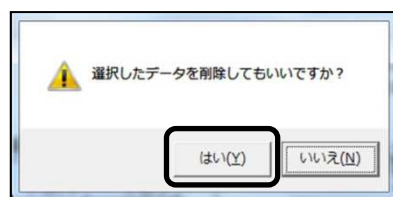


測定データを選択します。

### 4-10-2 データ削除

一覧より選択した測定データを削除します。

- ① 一覧より測定データを選択します（1 データ以上）。
- ② 「データ削除」をクリックすると、データ削除の確認メッセージが表示されます。



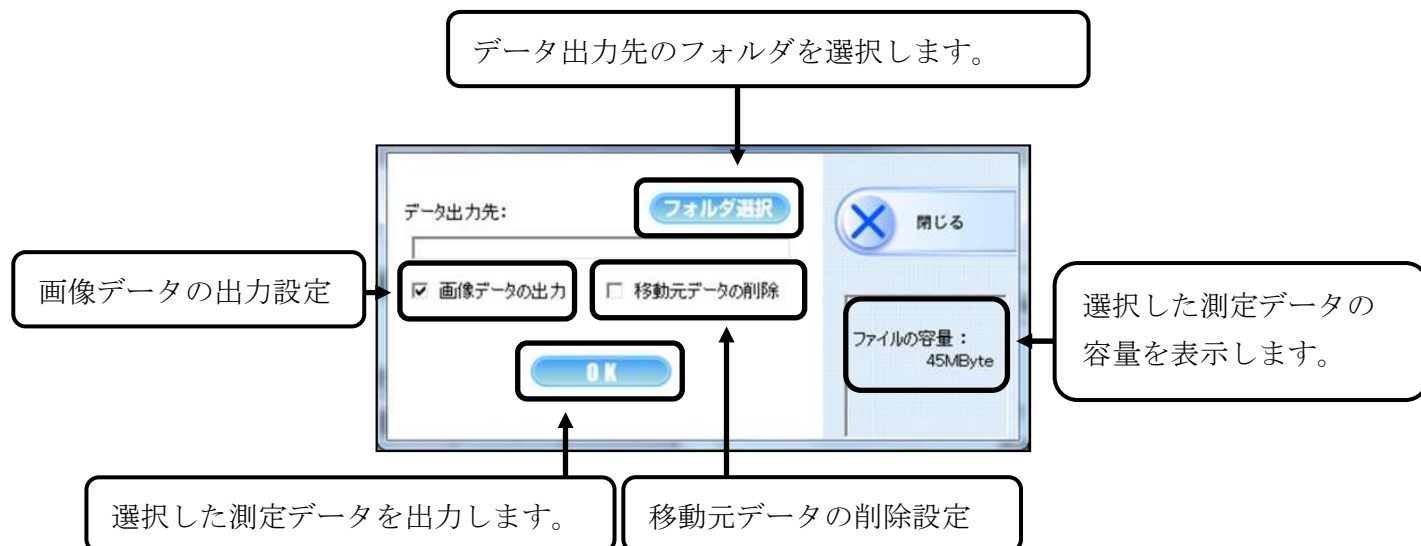
- ③ データ削除を行う場合は「はい」を選択します。データ削除をやめる場合は「いいえ」を選択します。

**注意）データ削除を行ったデータは、元に戻すことができません。データ削除を行う前に、一覧画面にあるデータ出力の実行をお勧めします。**

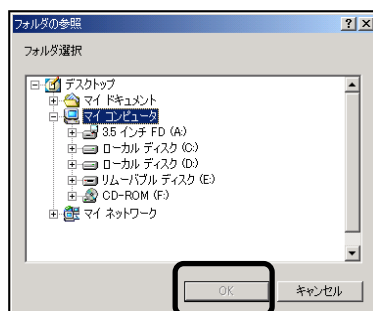
### 4-10-3 データ出力

一覧より選択した測定データをコピーします。測定データのバックアップとしてご活用ください。

- ① 一覧より測定データを複数選択します（1 データ以上）。
- ② 「データ出力」をクリックすると、データ出力の設定画面が表示されます。



- ③ データ出力先フォルダを選択します。「フォルダ選択」をクリックすると、出力先フォルダの選択画面が表示されるので設定し、「OK」を選択してください。



- ④ データ出力時の「画像データの出力」、「移動元データの削除」を設定します。

画像データを出力する場合は、「画像データの出力」のチェックボタンをクリックして、チェックを入れてください。移動元データを削除する場合は、「移動元データの削除」のチェックボックスをクリックして、チェックを入れてください。設定後「OK」を押せば設定した保存先にデータが出力されます。



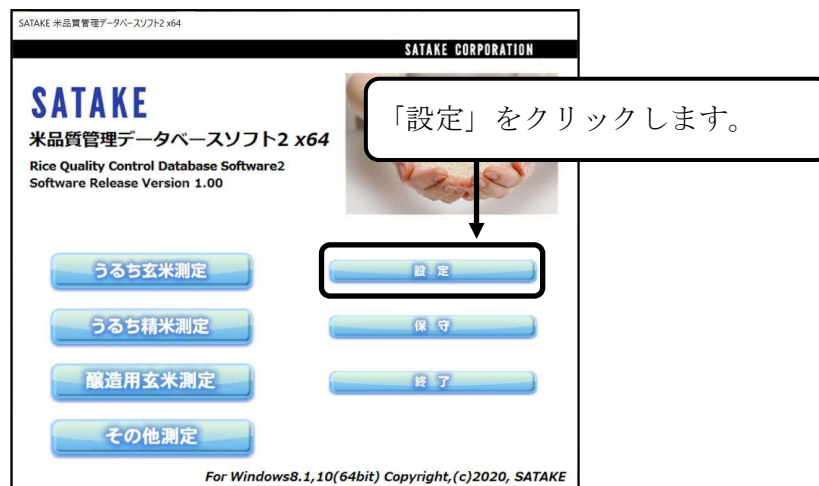
## 5) 設定画面の操作

### 5-1 設定画面の基本的な機能

画面表示やサンプル詳細リスト（マスタ）の変更、通信設定、データ保存先等を設定出来ます。

#### 5-1-1 設定画面の表示

起動画面の「設定」を選択します。



#### 5-1-2 設定で出来ること

##### ① 表示設定 1

サンプル詳細項目の表示・非表示設定や、自由項目の検索設定、自由項目名称を設定出来ます。

##### ② 表示設定 2

食味計の表示項目の表示・非表示設定や、その他測定での名称の変更が出来ます。

##### ③ 印刷設定

印刷時のヘッダータイトル、フッタータイトルを編集出来ます。

##### ④ 通信設定

食味計と穀粒判別器の通信設定が出来ます。

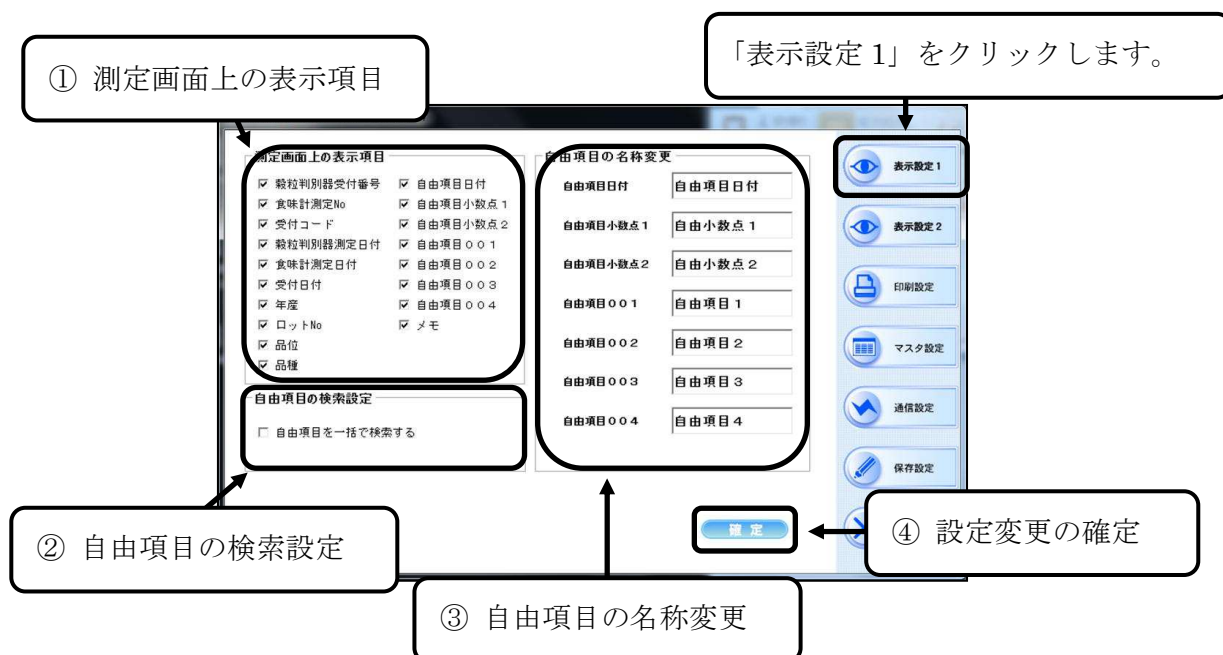
##### ⑤ 保守設定

測定データの保存先を設定出来ます。

## 5-2 表示設定 1

### 5-2-1 表示設定 1 の変更

サンプル詳細項目の表示・非表示設定や、自由項目の検索設定、自由項目名称を設定出来ます。

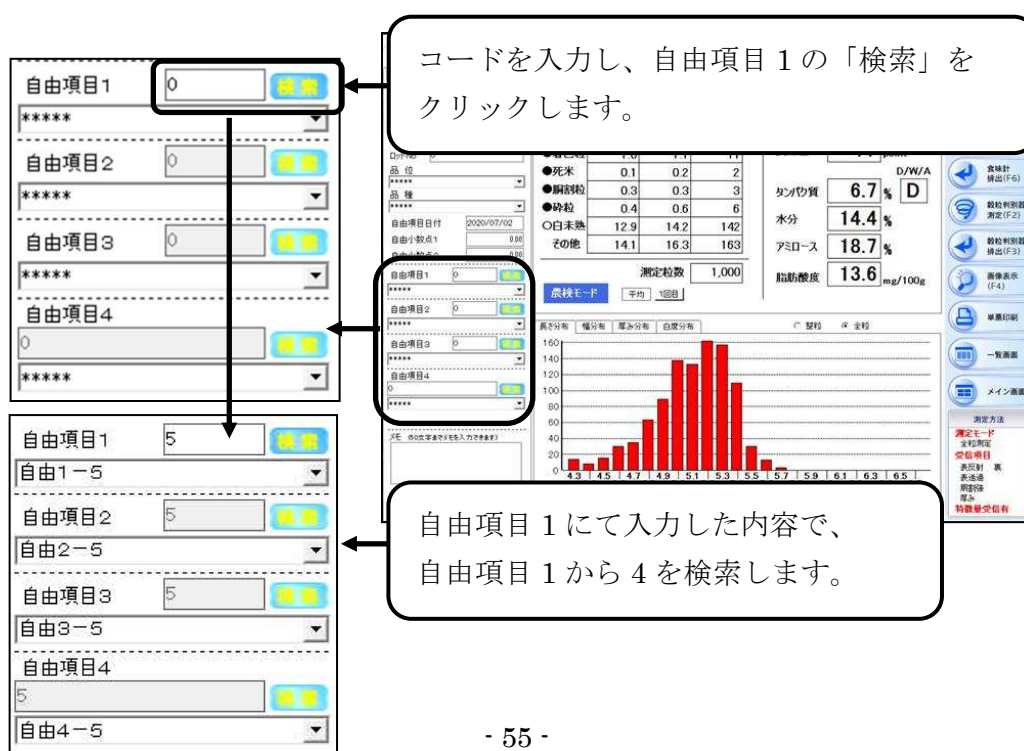


#### ① 測定画面上の表示項目

測定画面のサンプル詳細欄に表示されている項目を表示するか、非表示とするかを選択出来ます。表示する項目にチェックを入れてください。

#### ② 自由項目の検索設定

「自由項目を一括で検索する」にチェックを入れると、測定画面の自由項目 1 に入力した内容で自由項目 2～4 を連動して検索します。



### ③ 自由項目の名称変更（最大7文字まで入力が可能です。）

測定画面のサンプル詳細欄に表示されている自由項目の名称を自由に変更することが出来ます。

自由項目の名称変更	
自由項目日付	自由項目日付
自由項目小数点1	自由小数点1
自由項目小数点2	自由小数点2
自由項目001	自由項目1
自由項目002	自由項目2
自由項目003	自由項目3
自由項目004	自由項目4

### ④ 設定変更の確定

各設定の変更後「確定」をクリックして、変更した設定を保存します。

## 5-3 表示設定2

### 5-3-1 表示設定2の変更

食味計の表示項目の表示・非表示設定や、その他測定での名称の変更が出来ます。

SATAKE 米品質管理データベースソフト2 x64

食味計の表示項目及び名称変更

うるち玄米測定	うるち精米測定	醸造用玄米測定	その他測定	→ その他測定
<input checked="" type="checkbox"/> 食味値	<input checked="" type="checkbox"/> 食味値	<input type="checkbox"/> 食味値	<input checked="" type="checkbox"/> 食味値	→ 食味値
<input checked="" type="checkbox"/> タンパク質	<input checked="" type="checkbox"/> タンパク質	<input type="checkbox"/> タンパク質	<input checked="" type="checkbox"/> タンパク質	→ タンパク質
<input checked="" type="checkbox"/> 水分	<input checked="" type="checkbox"/> 水分	<input type="checkbox"/> 水分	<input checked="" type="checkbox"/> 水分	→ 水分
<input checked="" type="checkbox"/> アミロース	<input checked="" type="checkbox"/> アミロース	<input type="checkbox"/> アミロース	<input checked="" type="checkbox"/> アミロース	→ アミロース
<input checked="" type="checkbox"/> 脂肪酸度		<input type="checkbox"/> 脂肪酸度	<input checked="" type="checkbox"/> 脂肪酸度	→ 脂肪酸度

確定

設定を変更する場合は、「確定」をクリックします。

閉じる

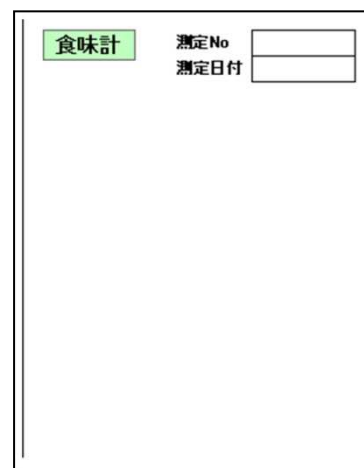
表示項目の変更、その他測定モードの測定項目の名称の変更を行った場合は、「確定」をクリックすれば設定が変更されます。

※醸造用玄米測定モードの場合

食味計は醸造用玄米に対応しておりません。

食味計の測定結果のデフォルト設定は非表示となっております。

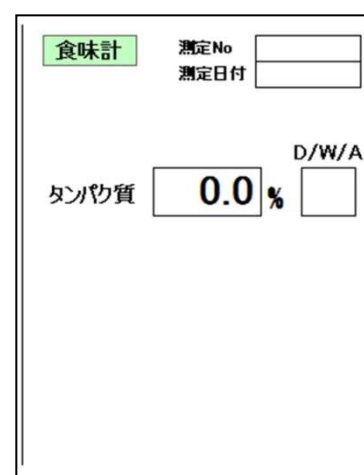
食味計が醸造用玄米に対応した場合に使用することが出来ます。



※表示項目をタンパク質のみにしたい場合

タンパク質のチェックボックスにチェックを入れれば

測定画面にタンパク質のみ表示されます。



※その他測定モードの場合

測定項目の名称を変更出来ます。

食味計が小麦等に対応している場合にご使用ください。

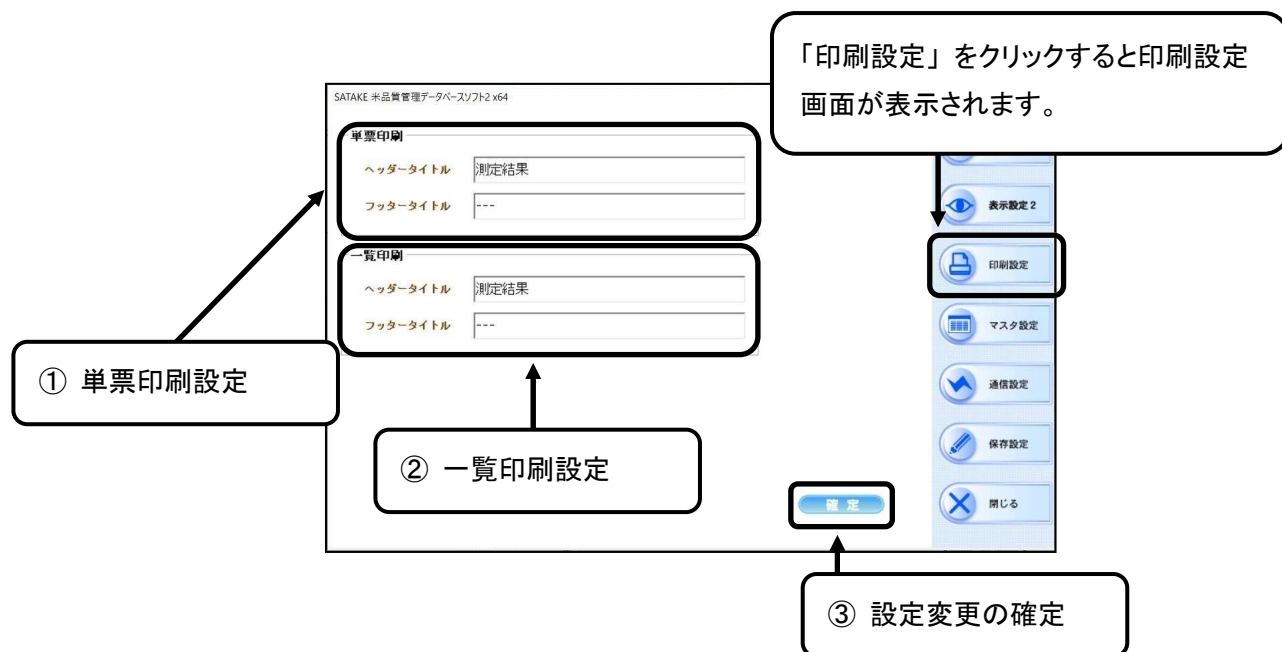
ただし単位は変更出来ません。



## 5 - 4 印刷設定

### 5 - 4 - 1 印刷設定の変更

印刷時のヘッダータイトル、フッタータイトルを編集出来ます。

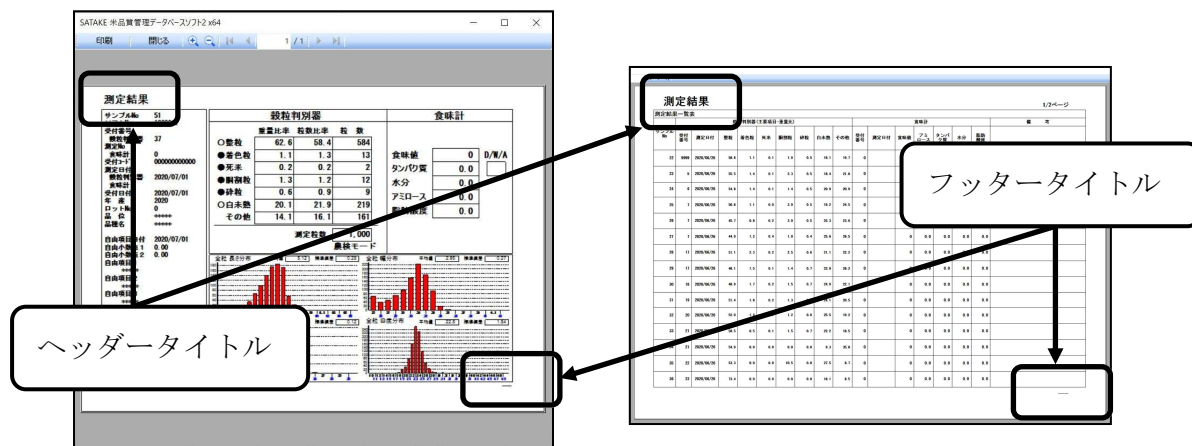


#### ① 単票印刷設定（最大 15 文字まで入力が可能です。）

単票、分布グラフ、粒選シミュレータ(フッタータイトルのみ)、検索内容印刷のヘッダータイトルとフッタータイトルを自由に変更することが出来ます。変更したい文字を入力してください。

#### ② 一覧印刷設定（最大 15 文字まで入力が可能です。）

一覧印刷のヘッダータイトルとフッタータイトルを自由に変更することが出来ます。変更したい文字を入力してください。



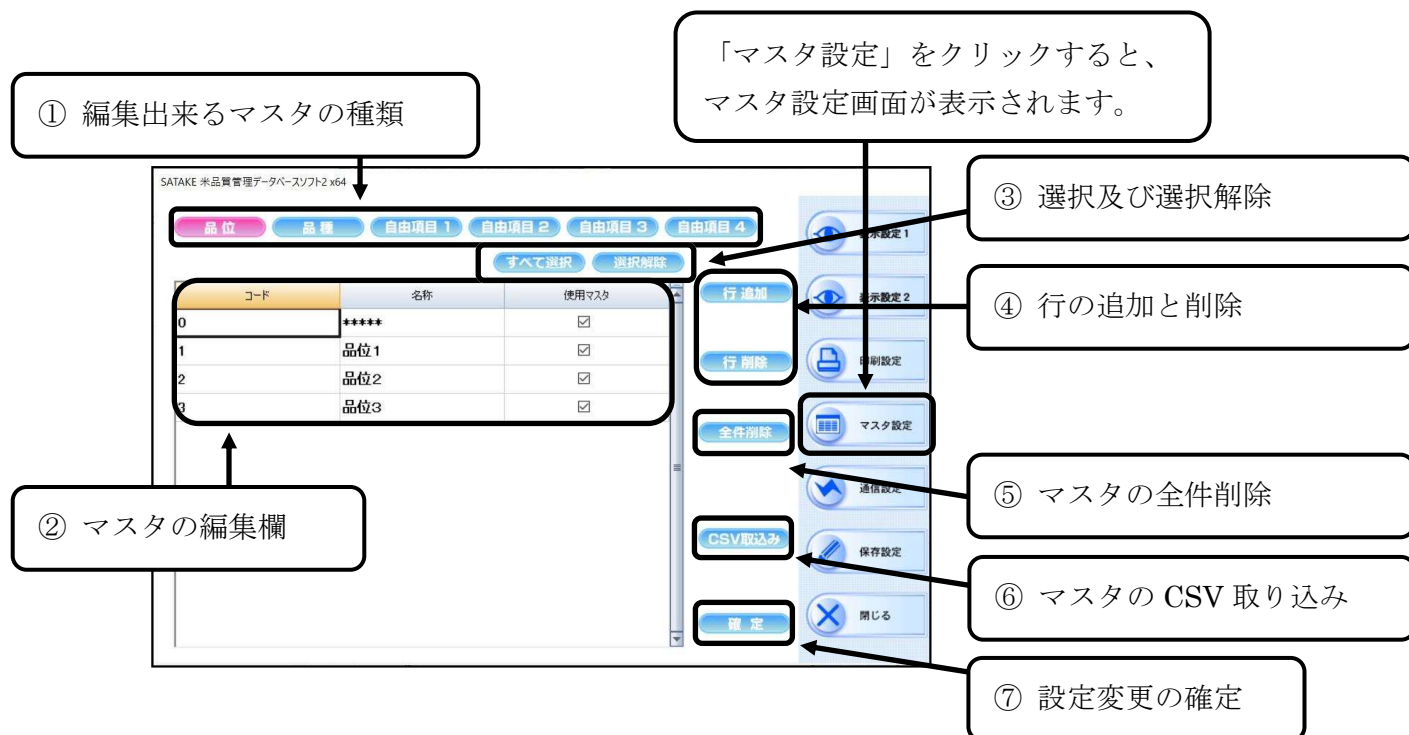
#### ③ 設定変更の確定

各設定の変更後「確定」をクリックして、設定値を保存します。

## 5-5 マスタ設定

### 5-5-1 表示設定の変更

サンプル詳細欄で選択するリスト内容(マスタ)を編集出来ます。



#### ① 編集出来るマスタの種類

サンプル詳細欄のリスト選択を行う項目、品位、品種、自由項目 1～4 のリスト内容を編集できます。編集したマスタをクリックしてください。

#### ② マスタ編集欄

マスタ編集欄は、コード、名称、使用マスタで構成されています。

##### i) コード

リストへ表示する際の順位を入力します。コードは必ず異なる半角数値を入力してください。

##### ii) 名称

リストへ表示する際の名称を入力します。

##### iii) 使用マスタ

サンプル詳細欄のリスト選択を行う際、使用マスタへチェックの入ったマスタのみリストへ表示されます。

コード	名称	使用マスタ
0	*****	<input checked="" type="checkbox"/>
1	品位 1	<input checked="" type="checkbox"/>
2	品位 2	<input type="checkbox"/>

ここをクリック

iv) 最大マスタ入力数

各マスタには、最大入力コード数と最大文字数があります。

マスタ	コード(最大桁数)	名称(最大文字数・全角)
品 位	4	5
品 種	4	10
自由項目1	9	10
自由項目2	9	10
自由項目3	9	10
自由項目4	14	20

③ 選択及び選択解除

「すべて選択」をクリックすると、使用マスタのチェックボックスが全てチェックされます。

「選択解除」をクリックすると、使用マスタのチェックボックスのチェックが全て解除されます。



④ 行の追加と削除

マスタへの入力欄を追加したい場合や、不要なマスタがある場合に、マスタを追加、削除出来ます。

i) 行の追加

「行追加」をクリックしてください。マスタ編集欄の最後に新たな行が追加されます。

ii) 行の削除

マスタ編集欄の削除したい行をクリックし、「行削除」をクリックしてください。

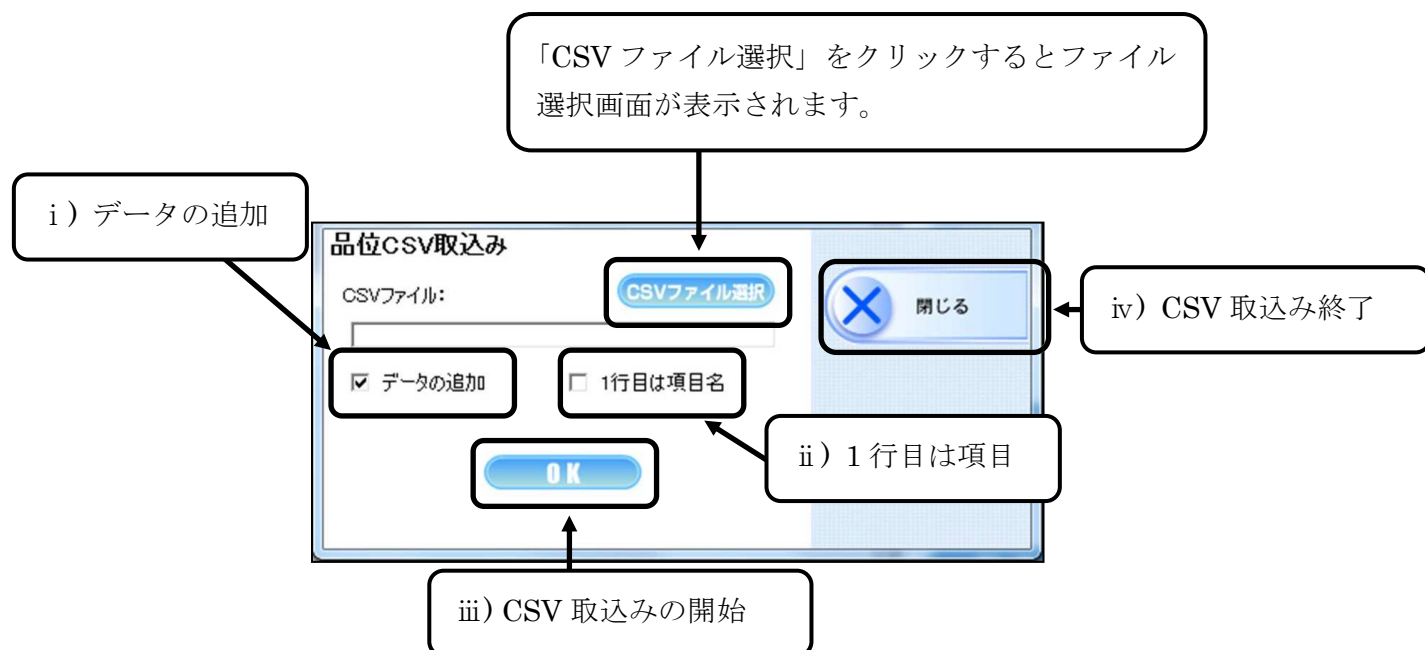
選択された行が削除されます。

⑤ マスタの全件削除

マスタを全件削除します。

**注意)** 使用中のマスタ名称を変更すると、サンプル詳細欄の測定データ全てが変更後の名称へ変更されます。

## ⑥ マスタの CSV 取り込み



1 列目にコード、2 列目に対象のマスタ内容を入力した CSV ファイルを用意します。  
「CSV ファイル選択」をクリックして用意した CSV ファイルを選択します。

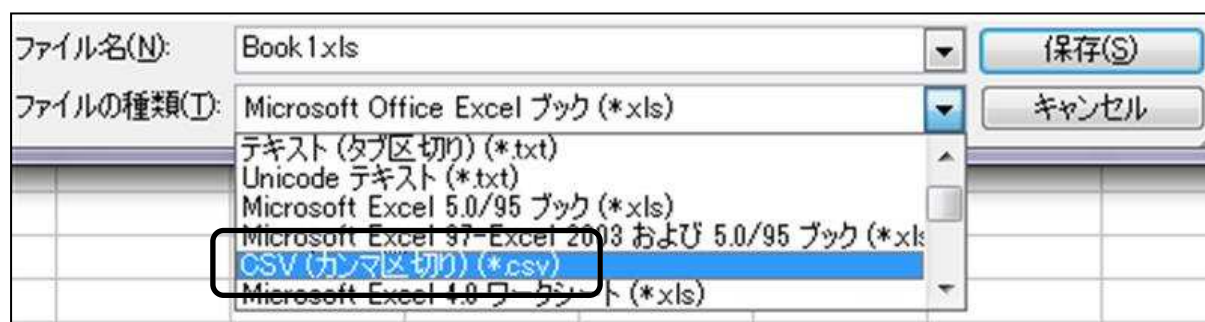
例

	A	B
1	1	品位1
2	2	品位2
3	3	品位3
4	4	品位4
5	5	品位5

### ※CSV ファイルの作成方法

Microsoft Excel にて上記表を作成します。

保存する際にファイルの種類で CSV(カンマ区切り) 形式を選択して保存すれば作成出来ます。



i) データの追加

本ソフトウェアに保存しているマスターデータに追加したい場合はチェックを入れてください。

ii) 1行目は項目名

準備している CSV ファイルの 1 行目が項目名になっている場合はチェックを入れてください。

※チェックが入っている場合、1 行目を読み飛ばします。例

	A	B	
1	コード	名称	
2		1 品位1	
3		2 品位2	
4		3 品位3	
5		4 品位4	
6		5 品位5	
7			

iii) CSV 取り込みの開始

CSV ファイルのコードと名称を読み込みます。

※コードが重複している場合は読み飛ばします。

iv) CSV 取り込み終了

CSV 取込みの画面を終了します。

⑦ 設定変更の確定

「確定」をクリックすると、変更した内容を保存します。

## 5 - 6 通信設定

### 5 - 6 - 1 通信設定の変更

食味計と穀粒判別器のシリアル通信（RS232C ポート番号）設定を行います。



## ① 食味計との通信方法

食味計とのシリアル通信ポートの設定を行います。

〔2〕 運転前の設定〕を参照してください。

## ② 穀粒判別器との通信方法

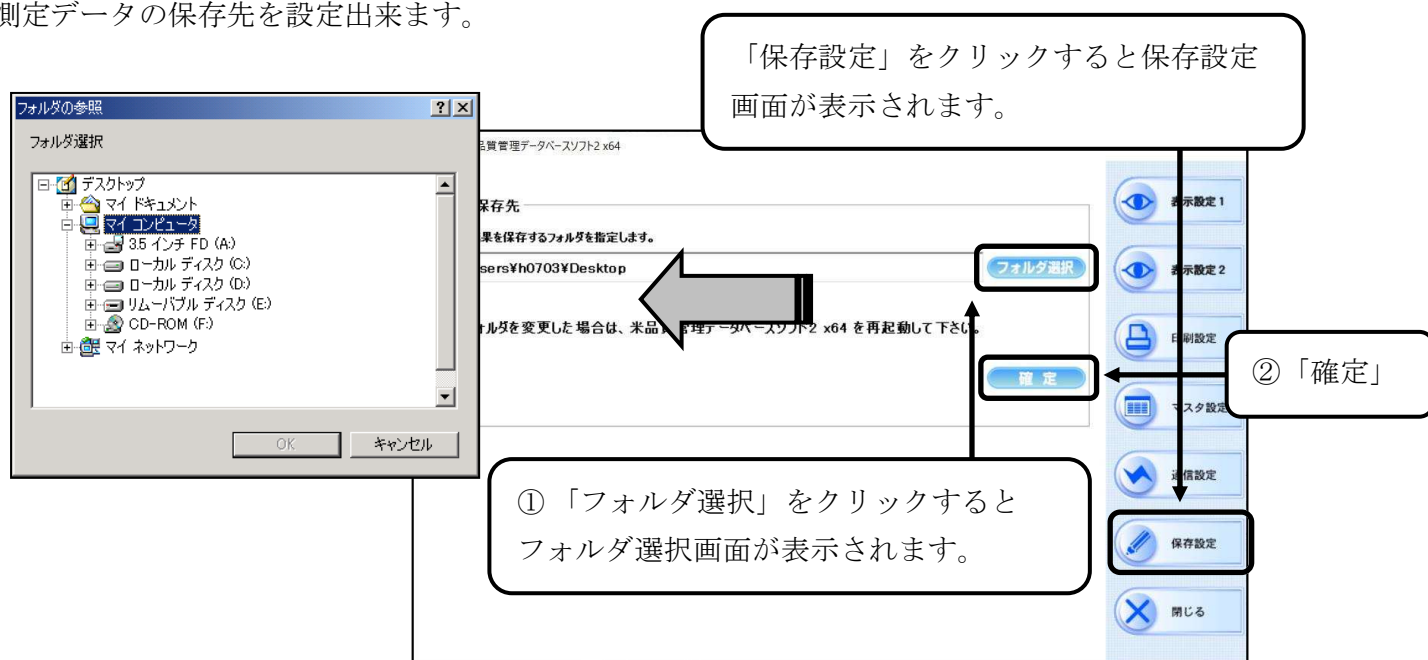
穀粒判別器とのシリアル通信ポートの設定を行います。

〔2〕 運転前の設定〕を参照してください。

## 5 - 7 保存設定

### 5 - 7 - 1 保存設定の変更

測定データの保存先を設定出来ます。



① データの保存先を変更します。「フォルダ選択」をクリックすると、新しい保存先の選択画面が表示されるので保存先の設定をしてください。

② 「確定」をクリックして保存先の変更を行います。保存先を変更した後は、必ず本ソフトウェアを一旦終了させ、ソフトを再起動させてください。

**注意 1) 通常は、初期値（本ソフトウェアのインストールされているフォルダ内）のままでご使用ください。**

**注意 2) パソコンに詳しい方のみ変更を行うようにしてください。**

## 6) 保守画面の操作

### 6-1 保守画面の基本的な機能

保守画面では、データ出力されたデータの読み込み、マスターデータの出力と読み込みが出来ます。

#### 6-1-1 保守画面の表示

起動画面の保守を選択します。



#### 6-1-2 保守で出来ること

##### ① 測定データ読み込み

データ出力した測定データを読み込み、現在のデータベースへ保存します。

##### ② マスターデータ移動

マスターデータを移動(コピー)して、現在のマスターをバックアップします。

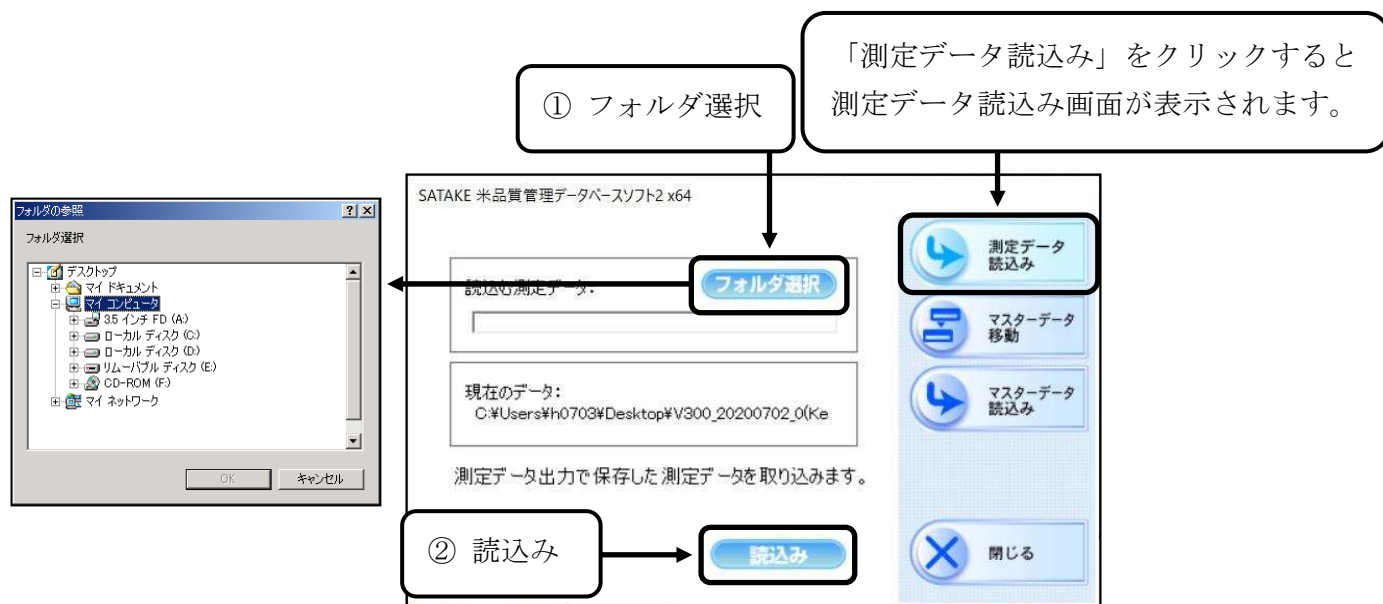
##### ③ マスターデータ読み込み

移動されたマスターデータを読み込み、現在のマスターへ保存します。

## 6-2 測定データ読み込み

### 6-2-1 測定データ読み込みの操作

一覧画面にある「データ出力」機能で出力した測定データ(画像含む)を読み込み保存します。



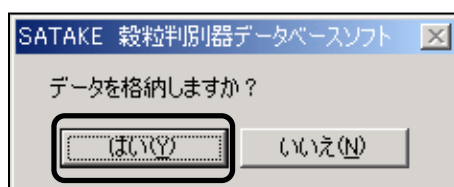
#### ① フォルダ選択

データ読み込み先フォルダを選択します。「フォルダ選択」をクリックすると、読み込み先フォルダの選択画面が表示されるので、あらかじめデータ出力しているデータフォルダを選択してください。

#### ② 読み込み

選択した測定データを現在のデータベースへ読み込みます。

データ読み込みの確認メッセージが表示されます。読み込みを実行する場合は、「はい」を選択してください。



注意 1) 既に保存されているデータと同一データ (ソフト No とサンプル No が一致するもの) と判断した測定データは読み込みません。

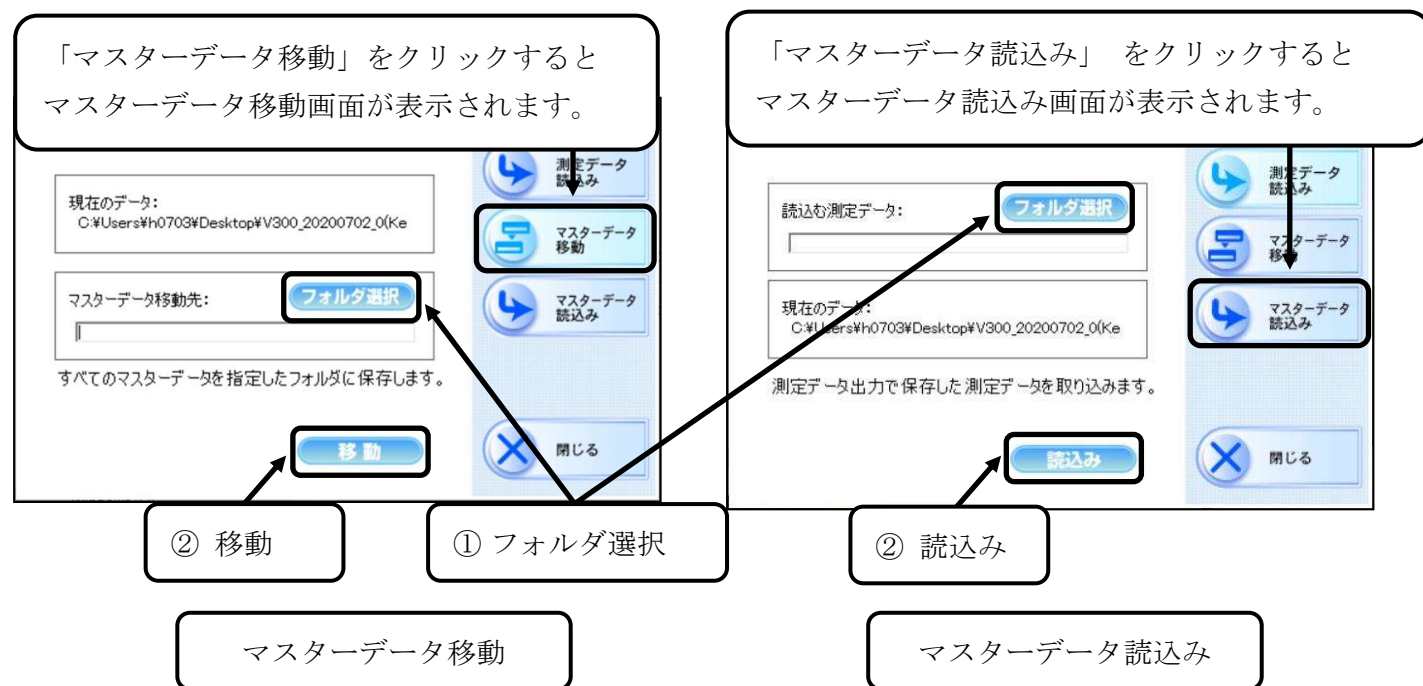
注意 2) データ読み込みを行う際には、ハードディスクの残り容量に注意してください。

## 6-3 マスターデータ移動と読み込み

マスターデータの移動(コピー)と読み込み機能を説明します。

※設定にてマスタ設定を行った場合は必ずバックアップを行ってください。

作成したマスターデータを別途読み込みたい場合にバックアップしたマスターデータを読み込むことで別途使用することが出来ます。



### 6-3-1 マスターデータ移動と読み込みの操作

マスターデータを任意の場所にバックアップ、またバックアップしたマスターデータを読み込みます。

#### ① フォルダ選択

##### i) 「マスターデータ移動」画面での操作

マスターデータ移動(コピー) 先フォルダを選択します。

##### ii) 「マスターデータ読み込み」画面での操作

マスターデータ読み込み先フォルダを選択します。

#### ② 移動と読み込み

##### i) 「マスターデータ移動」画面での操作

フォルダ選択で移動(コピー) 先として選択されたフォルダ内へマスターデータを移動します。

##### ii) 「マスターデータ読み込み」画面での操作

フォルダ選択で読み込み先として選択されたフォルダ内のマスターデータを現在のマスターデータベースへ読み込みます。

## 7) 測定分類について

### 7-1 穀粒判別器の測定分類

#### 7-1-1 うるち玄米の測定分類

うるち玄米の主要項目・中分類・小分類の分類内容について説明します。

主要項目・中分類は小分類の各項目を合計した値が表示されます。

主要項目	小分類
整粒	整粒
胴割粒	胴割粒
着色粒	全面着色粒
	部分着色粒
砕粒	砕粒
死米	青死米
	白死米
白未熟粒	乳白粒
	基部未熟粒
	背腹白粒

中分類	小分類
整粒	整粒
胴割粒	胴割粒
未熟粒	乳白粒
	基部未熟粒
	背腹白粒
	青未熟粒
	その他未熟粒
被害粒	砕粒
	その他被害粒
死米	青死米
	白死米
着色粒	全面着色粒
	部分着色粒

### 7-1-2 うるち精米の測定分類

うるち精米の中分類・小分類の分類内容について説明します。

中分類は小分類の各項目を合計した値が表示されます。

中分類	小分類
完全粒	完全粒
	胴割粒
粉状質粒	全粉状質粒
	半粉状質粒
	背・腹白粒
被害粒	損傷粒
	その他被害粒
着色粒	全面着色粒
	部分着色粒
砕粒	砕粒
異種異物	異種
	異物

### 7-1-3 醸造用玄米の測定分類

醸造用玄米の大分類・中分類・小分類の分類内容について説明します。

大分類、中分類は小分類の各項目を合計した値が表示されます。

大分類	中分類	小分類
整粒	整粒	心白整粒
		無心白整粒
胴割粒	胴割粒	胴割粒
その他	未熟粒	心白その他未熟粒
		青未熟粒
		無心白その他未熟粒
	被害粒	砕粒
		その他被害粒
	死米	青死米
		白死米
	着色粒	全面着色粒
		部分着色粒

※醸造用玄米はオプションです。

## 8) Q & A

ソフトウェア使用時にトラブルが発生した場合の原因とその対処方法を紹介します。

### 8-1 困ったときには

#### Q1 本ソフトウェアが起動出来ない。

A① 専用 USB メモリがパソコンに接続されていない可能性があります。

本ソフトウェアに付属の USB メモリの接続を確認して、再度ソフトウェアを起動してください。

A② ソフトウェアが正常にインストール出来ていない可能性があります。

本ソフトウェアを一旦アンインストールしてから、再度インストールしてください。

A③ データベースが読み込めていない可能性があります。

データの保存先を変更していないか確認してください。

#### Q2 穀粒判別器との通信が出来ない。

A① 穀粒判別器の通信設定がされていない可能性があります。

通信設定を確認して、再度設定を行ってください。

A② 新規レコード作成を行っていない可能性があります。

測定画面にて新規レコード作成を行ってください。

A③ 穀粒判別器の電源が切れている、またはウォームアップ中の可能性があります。

穀粒判別器の電源を入れ、ウォームアップ終了を待って、再度通信確認を行ってください。

また穀粒判別器本体が測定画面ではない場合もしくはメッセージダイアログが表示されている場合は通信が出来ません。穀粒判別器の画面を確認してください。

A④ 穀粒判別器とパソコンが USB ケーブルで接続されていない可能性があります。

穀粒判別器とパソコンを USB ケーブルで接続してください。

穀粒判別器の再起動と USB ケーブルを抜き差しすることで通信が可能になることもあります。

A⑤ USB ケーブルの断線・接触不良の可能性があります。

別の USB ケーブルにて接続確認を行ってください。

A⑥ 穀粒判別器のドライバーが正しくインストールされていない可能性があります。

穀粒判別器のドライバーを一旦アンインストールしてから、再度インストールしてください。

### Q3 食味計との通信が出来ない。

A① PC 側の通信設定が正しく設定されていない可能性があります。

通信設定を確認して、再度設定を行ってください。

A② 食味計本体側の設定が正しく設定されていない可能性があります。

設定を確認して、再度設定を行ってください。

A③ USB シリアルコンバーターのドライバーがインストールされていない可能性があります。

再度インストール手順を確認して、インストールしてください。

A④ USB シリアルコンバーターの故障・RS232C ケーブルの断線・接触不良の可能性があります。

別のケーブルにて接続を行ってください。

### Q4 帳票の印刷が出来ない。

A① プリンターとの接続・設定が正常に行われていない可能性があります。

パソコンとプリンターの接続及びプリンターの設定を確認してください。

Windows の【コントロールパネル】⇒【プリンター設定】⇒【通常使うプリンター】  
に設定されたプリンターで印刷されます。

画像付き単票印刷を行う場合、表反射画像データの無いデータは印刷されません。

### Q5 データ受信に時間がかかる。

A① ソフトウェアの動作環境を確認してください。

パソコンのスペックを確認してください。

画像受信設定にて、受信画像数を少なくしてください。

### Q6 ソフトウェアの動作が不安定になる。

A① ソフトウェアの動作環境を確認してください。

パソコンのスペックを確認してください。

A② パソコンの再起動を行って、再度操作を実行してください。

本ソフトウェア以外のソフトウェアが起動している可能性があります

他に起動しているソフトウェアを終了させてください。(常駐ソフトウェアを含む)

### Q7 エラーが発生する。

A① ソフトウェアの動作環境を確認してください。

パソコンのスペックを確認してください。

「ソフトウェアの動作が不安定になる」の項目も併せて確認してください。

→ 改善されない場合は、『エラー内容』・『エラーが発生する条件』・

『お使いの PC の OS・CPU・メモリ・空き HDD 容量』を最寄りの営業所に連絡してください。

あらゆる PC 環境での確認は出来ておりませんので、環境によっては不具合が発生する可能性があります。対応にお時間をいただく可能性もございますがご了承ください。

**Q8 本ソフトウェアの仕様が取扱説明書と異なる。**

- A① 本ソフトウェアのバージョンによっては、取扱説明書の内容と仕様が異なる場合があります。  
本ソフトウェアは、常に改善、修正を行っております。  
従って、予告無く仕様変更が発生する場合がありますが、ご了承ください。

株式会社 **サタケ**

広島本社 ■ 広島県東広島市西条西本町2番30号 〒739-8602

東京本社 ■ 東京都千代田区外神田4丁目7番2号 〒101-0021



のホームページ <https://satake-japan.co.jp/>